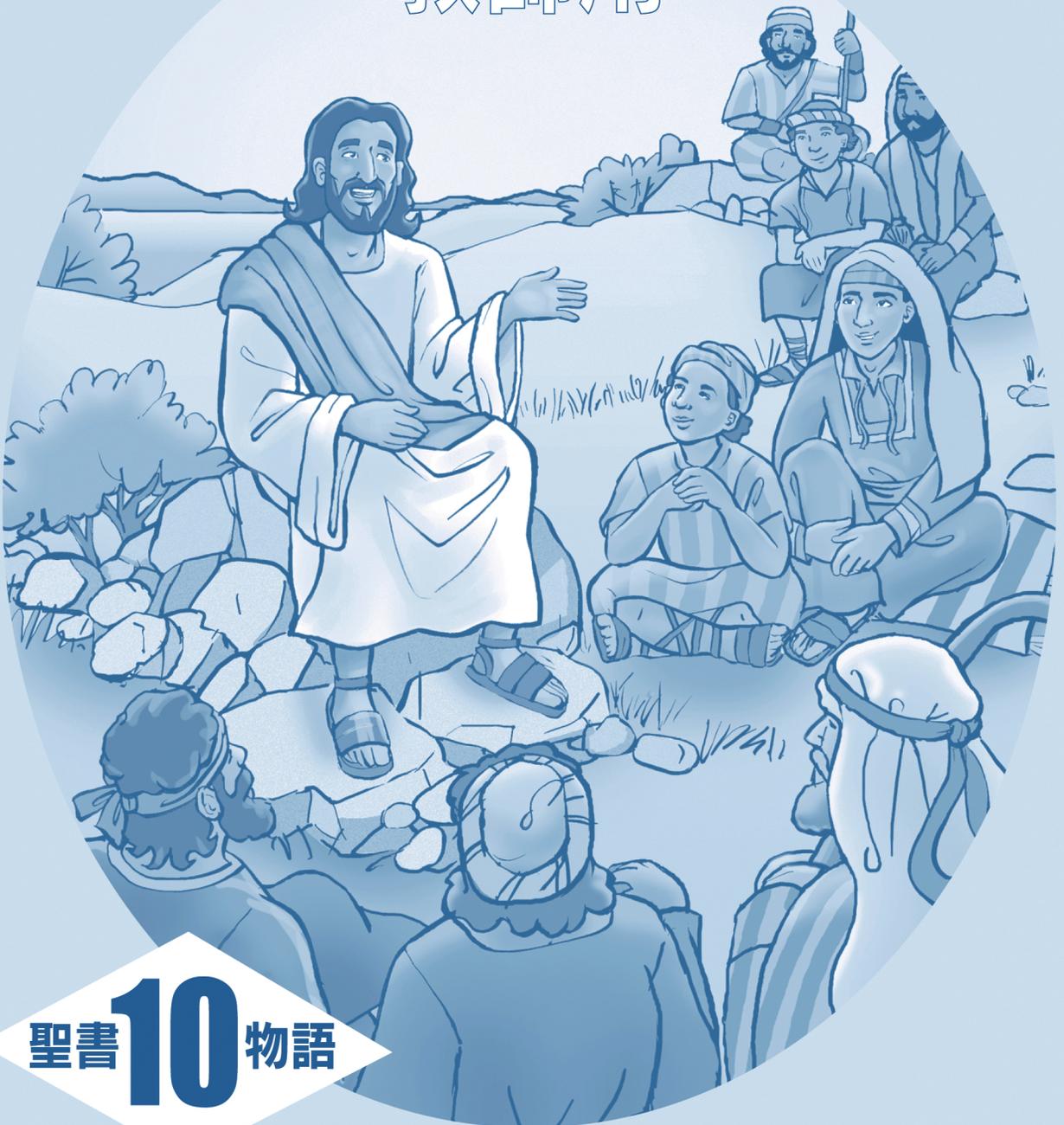


小学校上級用

イエスさまといっしょ

教師用

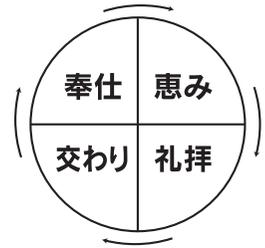


聖書 **10** 物語

さあ グレースリンクで学びましょう

上級生の教課はグレースリンクとよばれるカリキュラムで構成されています。このサイクルがうまくまわっていくことにより、子どもたちが成長過程において神様の福音をもっと体験できるように意図されています。

- 「恵み」……神様からあふれる愛をいただく
- 「礼拝」……その愛に応答する
- 「交わり」……いただいた愛を分け合う
- 「奉仕」……その愛をもって神様に、人々に仕えていく



◆目次◆

奉 仕

イエス様は私たちに、人々に仕えなさい、と呼びかけておられます

- 1 黄金りつ 8
- 2 先の者が後になる 12
- 3 病人を救った友だち 16
- 4 見ることは信じること 20

恵 み

私がどこにいても、神様はその愛で私を見つけてくださいます

- 5 まい子の発見 24
- 6 あまりにも大切なもの 28
- 7 あらしの中でもだいじょうぶ 32
- 8 神さまにお会いする約束の日 36

礼 拝

私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません

- 9 つらい選び 40
- 10 イエスさまをさばく 44
- 11 わたしのために 48
- 12 イエスさまはよみがえられた 52
- 13 そしてふたたび地上へ 56

- 解答集 60

◆新しい教課をいかすのはあなたの熱意と祈り、そしてよい準備です◆**ポイント1◆ 最初から分級が理想**

子どもたちは、初め大人と一緒に安息日学校に出席し、それから分級という教会も多いと思いますが、最初から子どもたちのために大人と別のクラス、それも下級と上級別クラスを持つことをお勧めします。年齢差によって生じる問題を回避し、また、初めて教会に来た子どもたちのためにも対応しやすくなります。教室や教師の都合で難しいところもあると思いますが、分級できるように努力してみてください。

ポイント2◆ テーマを1つに

その週のテーマを1つにしぼり、朝のあいさつから歌、ゲーム、工作から最後の適用までそのテーマで統一してください。子どもたちがその課のテーマを理解することが容易になります。教師は前もって内容をよく読んで把握することはもちろん、それをどう適用するか祈りのうちに自らの生活に適用していくことも必要です。

ポイント3◆ 個人的関心を示す時間を

まず子どもを知ることにつとめましょう。子どもの名前、愛称も一緒に覚えましょう。そしてその子の家族や友だちとの関係、徐々に子どもの内面的な必要へと心配りをしていきます。このために、プログラムの始まる前に歓迎の時間を持ちましょう。最近の出来事や感じたことなどを個人的に話す時間を持ってください。個人的に話すことによって子どもたちが自分では受容されていると感ずることができ、子どもたちもこの時間によって定刻前に出席することを楽しみにするようになります。

ポイント4◆ プログラムで子どもにも役割を

献金集めやお祈りを子どもたちに順番で担当させることもできるでしょう。ただ恥ずかしがりやの子どもやお祈りに慣れていない子どもに対する配慮は十分にしてください。

ポイント5◆ 歌やゲームで変化を

各期のテーマソングは教課のうしろに掲載されています(下・上級共通)。その他にガイドブックにはその課の歌が紹介されています。ただし、毎週新しい歌を覚えなければならぬということはありません。特に下級生の場合は、長時間じっとしているのがなかなか難しいものです。お話の前に動きのある歌やゲームを挿入することによって、めりはりのあるプログラムを計画してみましょう。

ポイント6◆ 伝道地便りを工夫して

献金の前には、その期の伝道地に関する短い情報(写真を見せたり地図や地球儀で位置を確認させたりする程度でよい)を提供し、関心を持たせましょう。教団発行の伝道地便り子ども版のお話を単に読みあげる必要はありません。ポイントだけをわかりやすく話すか、時間によっては省略してもかまいません。

ポイント7◆ 暗唱聖句の覚え方にも工夫を

あらかじめ覚えてきてもらう方法と、その場で覚えさせる方法と、どちらでも適当と思われる方を採用してください。初めて教会に来る子どもがいる場合や、両親が教会員でない子どもの方が多い場合などは、その場で覚える方法の方が、その子どもたちが疎外感や劣等感を感ずずにすみます。

暗記が楽しくなるような活動を用いると、子どもたちは驚くほど短時間に聖句を覚えることができます。聖句を誰もが知っているメロディーにのせて覚える方法や、輪唱して覚える方法など工夫してみてください。

ポイント8◆**聖書物語はポイントをしぼって**

物語をただ単に読み上げるだけでは時間がいくらあっても足りません。教師の努力で短くまとめてください。あとは子どもたちが自宅で、また終わった後の礼拝の時間に教課を読むことにより復習することができます。教師が強調したいことを視聴覚教材を使って10分以内にまとめてみてください。教課をまる読みすることは避けましょう。

ポイント9◆ 適用に力を入れて

このプログラムの1番重要な時間は適用の時間です。新しいガイドブックには数種類の話し合いのための内容例が記載されています。その中から時間に合わせて選択してみてください。

適用は表現活動の時間とも考えることができます。話し合うことはもちろん、そのテーマからヒントを得て、教師が準備してきたゲームや視聴覚教材を使った学びをするのもよいでしょう。下級生はこの時間にワークブックの工作をしましょう。また教課に記載されているパズルを一緒にしてもいいでしょう。ただし全部しなければならぬというわけではありません。教師があらかじめ、時間配分を計算して、時間内でできるものを選んでください。

工作やパズルが時間内に終わらない場合は、礼拝や午後の時間に、または家でやらせるという方法もできます。

事前にワークブックに目を通し、実際に作製してみることも忘れずに。

ポイント10◆ 教案計画表を作りましょう

できれば教師は教案計画表を作って毎週書き込みましょう。あらかじめ、時間配分等を頭に入れて準備することにより、話だけで終わってしまったとか、時間が余ってしかたなくゲームをしたという、その場しのぎのプログラムはなくなります。統一したプログラムによって進められ、目標がはっきり設定されることによって効果をあげることができます。そして終わったあとにはその日の感想や反省点などを書き込んでおくと複数の教師が交代である場合の参考になると思います。

ポイント11◆ 休んだ子どもに対しての早めのフォローを忘れずに

葉書を出したり、電話をかけたりしましょう。これらをすることで子どもは教会が自分に関心があることを感じます。

ポイント12◆ 柔軟なプログラムを

ここにはプログラムの一例を挙げましたが、それぞれの教会の現状に合わせてプログラムは柔軟に対応してください。こうでなければならぬというきまりはありません。特に子どものクラスが教課の時間だけに限定される場合など、ポイントの中からピックアップして時間配分を考えましょう。

9:15	歓迎 出席
9:30	あいさつ テーマソング 初めの祈り 献金 歌やゲーム
9:50	聖書物語 (バイブル・レッスン)
10:00	聖書物語の適用 視聴覚教材 ゲーム 話し合い ワークブックなど 新しい教課ではこの時間に 1番重点を置いています。
10:30	歌 終わりの祈り、礼拝へ移動

1 ◆教師ガイドの概要

◇第1課から第4課までは、次のことを学びます。

- * 私たちが、人からしてほしいと思うことをほかの人にしてあげられるよう、イエス様は助けてくださいます。
- * 私たちがほかの人のことを自分のことより先に考えることを、イエス様は望んでおられます。
- * 私たちは、イエス様の所に人々を連れていきたいと思います。
- * 私たちは、イエス様が私たちにしてくださったことを人々に話します。

◇第5課から第8課までは、次のことを学びます。

- * 私たちが遠く離れていても、イエス様は捜しに来てくださいます。
- * イエス様は私たちを大切に思い、必ず捜してください。
- * 私たちが困っているとき、イエス様は助けてくださいます。
- * 安息日は、神様の愛をさらに学ぶ日です。

◇第9課から第13課までは、次のことを子どもたちに促します。

- * 私たちを救うことを選んでくださったイエス様に感謝します。
- * 私たちのために喜んで苦しんでくださるイエス様に感謝します。
- * 私たちはイエス様に、私たちの救い主になっていただきたいと思います。
- * イエス様がよみがえられたので、私たちはイエス様と一緒にずっと生きることが出来ます。
- * イエス様が戻って来られるとき、私たちはイエス様にお会いしたいと思います。

◇神様の恵み。恵みという言葉により、神様がそれを受けるに値しない私たちにも、愛を与えてくださることを理解することができます。

- * 神様が私たちの罪の犠牲としてイエス・キリストを遣わされた愛も、神様の恵みです。
- * 私たちにその犠牲を受け入れるようにと勧めてくださる愛も、神様の恵みです。
- * 私たちが賛美と礼拝によって応えるように励ましてくださる愛も、神様の恵みです。
- * 神様が私たちになさるとちょうど同じように、私たちがお互いに愛と尊敬の念を持って接することができるように、知恵と力を与えてくださる愛も、神様の恵みです。

さあ、あなたもグレースリンクで学びましょう。神様の恵み（グレース）は、まさに力です。限りない力、確かな力、永遠の力です。この力は、あなたの

所にも届き、あなたが神様と共に満たされたすばらしい人生を生きるために、必要な物をすべて与えてくれるのです。

2◆指導される先生方へ

このガイドの目的は、次の通りです。

- *安息日に次週のテーマを与え、生徒たちが1週間でそのテーマを学んでこられるようにします。
- *安息日学校での聖書物語の時間は、1つのメッセージ、神様の恵みのある1つのポイントに焦点を当てます。そして、その恵みに対して実生活でどのように応答できるか、考える機会を与えてください。恵みによって、私たちがお互いに愛し合い、助け合うこと、また神様が愛をもってお造りになり、支えておられるこの世界への奉仕が、どんなにすばらしいかを学ぶことに、主眼を置くようにします。
- *状況に応じて、一番学びやすいプログラムを工夫してください。基本的に次の順序で書かれています。
 1. **バイブルレッスン** (何を学ばなければならないの?)
 2. **学ぼう・考えよう**
(これは私の生活にどういうふうに役立つの?)
学んだことを他の人と分かち合うにはどうすればいいの?)
 3. **おわりに** (祈り)
本書に提案されていることはすべてやらなければならない、というわけではありません。この中から選択したり、他の活動(工作、賛美、ゲームなど)を工夫して入れましょう。提案されている部屋の装飾、歌も、柔軟に用いてください。なお、巻末には教課本文の質問、解答もあります。参考にしてください。
- *生徒たちが、クラスで学んだ真理を自分の物にするのを助けるため、生徒参加型のクラスを持つことをお勧めします。学んだことを実生活に生かせるように導いてください。質問に対する答えは、「これだけが正解」という指導ではなく、たとえ間違っただとしても、その子どもの個性を尊重し、話し合しましょう。
- *大人のスタッフが、柔軟なやり方で安息日学校に参加できるようにしてください。小さな安息日学校なら、教師1人で運営できるでしょう。やや大きめの安息日学校であれば、指導者または教師1人と有志の大人数人で、小さなグループ(3、4人が理想ですが、クラスのサイズによって柔軟に

対応してください)に分けて活動することができます。こうすることにより、グループを引率する大人が準備する負担を最小限にし、かつ生徒たちと最大限にかかわり合うことができます。

3◆このガイドの使い方

前もって参照し、よい準備の助けとしてください。また、必要な教材をそろえてください。各期が始まる前に、いつも使う物を準備しておきましょう。たとえば、

- * 聖書
- * 新聞紙やクラフト紙などの大きな紙、または掲示板
- * A4の大きさの紙
- * 鉛筆、ペン、マーカー、クレヨン、色鉛筆など
- * その他、よく使う文房具（のり、はさみなど）

4◆参考資料

◇参考書

- ・『キリストの実物教訓』（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『イラスト早わかり聖書ガイドブック』（F・ブランケンハイカー CS成長センター）
- ・『人類のあけぼの』〈上、下〉（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『各時代の争闘』〈下〉（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『患難から栄光へ』〈上〉（エレン・G・ホワイト 福音社）
- ・『聖書ハンドブック』（ヘンリー・H・ハーレイ 聖書図書刊行会）
- ・『旧約聖書一日一章』（榎本保郎 主婦の友社）
- ・『新約聖書一日一章』（榎本保郎 主婦の友社）

◇歌集

- ・『教会学校さんびか』（インマヌエル総合伝道団）
- ・『プレイズワールド合本』（いのちのことば社）
- ・『リビングプレイズ』（いのちのことば社）
- ・『こどもさんびか』（日本基督教団出版局）
- ・『ノア コレクション Vol. 1』（ノアミュージック・ミニストリー）
- ・『フレンズ』（福音社）
- ・『キッズフレンズ』（福音社）

	聖書の話題	参照箇所	暗唱聖句	メッセージ
奉仕：イエス様は私たちに、人々に仕えなさい、と呼びかけておられます				
1	黄金りつ	マタ 7：1-12、各時代の希望下巻 112、113p、祝福の山 153-171p	マタイ 7：12	私が、人からしてほしいと思うことをほかの人にしてあげられるよう、イエス様は助けてくださいます。
2	先の者が後になる	マタ 20：20-28、マコ 10：35-45、各時代（中）210-216、364-371p	マルコ 10：43、44	私がほかの人のことを自分のことより先に考えることを、イエス様は望んでおられます。
3	病人を救った友だち	マタ 9：1-8、マコ 2：1-12、ルカ 5：17-26、各時代（上）336-343p	ローマ 12：10	私は、イエス様の所に人々を連れていきたいと思います。
4	見ることは信じること	ヨハ 9 章、各時代の希望中巻 262-271p	ヨハネ 9：25	私は、イエス様が私にしてくださったことを人々に話します。
恵み：私がどこにいても、神様はその愛で私を見つけてくださいます				
5	まい子の発見	マタ 18：12-14、ルカ 15：3-7、キリストの実物教訓 165-172p	マタイ 18：14	私が遠く離れていても、イエス様は捜しに来てくださいます。
6	あまりにも大切なもの	ルカ 15：8-10、キリストの実物教訓 172-178p	ルカ 19：10	イエス様は私を大切に思い、必ず捜してくださいます。
7	あらしの中でもだいじょうぶ	マタ 8：23-27、マコ 4：35-41、ルカ 8：22-25、各時代（中）55-61p	ヨハネ 14：27	私が困っているとき、イエス様は助けてくださいます。
8	神さまにお会いする約束の日	マタ 12：1-13、マコ 2：23-3：5、ルカ 6：1-10、各時代（上）360-373p	マタイ 12：8	安息日は、神様の愛をさらに学ぶ日です。
礼拝：私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません				
9	つらい選び	マタ 26：36-56、マコ 14：32-50、ルカ 22：39-53、ヨハ 18：1-12、各時代（下）173-189p	ルカ 22：42	私を救うことを選んでくださったイエス様に感謝します。
10	イエスさまをさばく	マタ 26：57-27：2、11-14、マコ 14：53-15：5、ルカ 22：54-23：12、ヨハ 18：12-38、各時代（下）191-214、227-241p	イザヤ 53：5	私のために喜んで苦しんでくださるイエス様に感謝します。
11	わたしのために	マタ 27：15-66、マコ 15：6-47、ルカ 23：13-56、ヨハ 18：39-19：42、各時代（下）241-292p	ヨハネ 3：16	私はイエス様に、私の救い主になっていただきたいと思います。
12	イエスさまはよみがえられた	マタ 28：1-15、マコ 16：1-14、ルカ 24：1-49、ヨハ 20：1-31、各時代（下）293-343p	ルカ 24：6	イエス様がよみがえられたので、私はイエス様と一緒にずっと生きることができます。
13	そしてふたたび地上へ	ルカ 24：50-53、使 1：1-12、各時代の希望下巻 379-387p	使徒言行録 1：11	イエス様が戻って来られるとき私はイエス様にお会いしたいと思います。

書名略語：各時代…『各時代の希望』



イエス様は私たちに、人々に仕えなさい、と呼びかけておられます

第1課

黄金りつ

子どもたちに、
 本当のクリスチャンは人々に仕え、
 だれのことも裁いたりしないと教えます。
 イエス様にとってはだれもが
 特別な存在なのだと感じさせ、
 人々を思いやり、彼らの気持ちを
 理解するように導きます。

マタイ
 7:1-12、
 『各時代の希望』
 下巻 112、113
 ページ、
 『祝福の山』
 153-171
 ページ参照

■メッセージ■

私が、人からしてほしいと思うことをほかの人にしてあげられるよう、イエス様は助けてくださいます。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様は、山上の説教をなさっています。このお説教には、当時の人たちばかりでなく、現代に生きる私たちにとっても大切な教えがたくさん含まれています。イエス様は、他人を裁いたり、他人のあら探しをしたりすることを戒められました。それに関連して、自分の目の中に丸太（大きな罪）があるのに、他人の目の中のおがくず（小さな罪）を取ろうとするたとえ話をなさっています。さらに主は、神様の愛は惜しみないこと、神の国では「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」というのがルールであることを、お語りになりました。

◆ここでは、奉仕について学びます。

神様の惜しみない愛を知れば、ほかの人たちのあら探しなどをせずに、どんな人をも無条件で受け入れずにはられません。私たちが本当に、人からしてほしいと思うことをほかの人にするとき、その行為は奉仕となります。

暗唱聖句

「だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたも人にしなさい。……」
(マタイ 7:12)

◆指導される先生の参考のために

「山上の垂訓は特に弟子たちに与えられたものであったが、それは群衆のきいているところで語られた。…… 弟子たちの場所は、いつもイエスの隣りだった。…… 彼らは、いつもとちがった何ものかが期待されるような気がして、いまイエスのまわりにつめかけた。彼らはみ国がまもなく建設されることを信じていたので、その朝の出来事から、み国について何か発表がなされようとしているという確信をいただいていた。群衆にもまた期待の感情がみなぎり、熱心な顔が深い興味を物語っていた。人々が緑の丘にすわって天来の教師イエスのみことばを待っていると、彼らの心は、将来の栄光についての思いで満たされた。そこには、憎むべきローマ人を支配して、世界の大帝国の富と栄光とを、自分たちの手におさめる日を待望している学者たちとパリサイ人たちがいた。貧しい百姓や漁師たちは、彼らのみじめなあばら家、乏しい食物、苦勞の生活、欠乏の心配が、ぜいたくな邸宅と安楽な日々にとりかえられるという保証を聞きたいと望んだ。昼はからだにまとい、夜は毛布となっている一枚のそまつな外衣のかわりに、彼らは、キリストが彼らの征服者たちの高価な美しい衣服を与えてくださることを望んだ。もうすぐイスラエルが、主の選民として諸国民の前にあがめられ、エルサレムが世界帝国の首都として高められるのだという誇らしい望みに、すべての心が高鳴った。

キリストは世俗的な偉大さへの望みをくじかれた。山上の垂訓の中で、キリストは、まちがった教育によってなされた働きをもと通りにし、キリストのみ国とご自身の品性について、正しい観念を聴衆に与えようとされた」(『各時代の希望』中巻 1-3 ページ)。

◆教室の装飾

今期は、イエス様について学びます。イエス様が人間として生きておられた時代を表すようなもので教室を飾ってください。大きな段ボール箱を使って、屋根が平らな家を作りましょう。教室の1つの壁を紙で覆い、そこに緑の丘を描いてください。週が進むにつれて、羊、湖、十字架、墓などをそこに加えていくことができます。

◆今週の歌

キッズフレンズ 64 「愛をください」

1 バイブル・レッスン

子どもたちに次の聖句を探させ、質問に答えさせましょう。

- ① マタイ 5：44 —— イエス様は、人々（敵も含めて）にどのようになさいましたか？
- ② マタイ 7：4、5 —— イエス様はお話を聞いていた群衆の中のある人たちに対して、とても厳しい話し方をなさいました。それはなぜでしょうか？
- ③ マタイ 7：7-11 —— 私たちがお祈りするとき、神様は私たちに何をしてくださいますか？
- ④ マタイ 7：12 —— 私たちは神様の家族ですから、出会う人にはどのようにしなければなりませんか？（何問かは、聖書を見ずに答えさせてみてください。）

質問：

- ① 「みなさんにこんなによくしてくださる神様のことを、どう思いますか？」（感謝している。神様と同じように私もしたい。そして、神様に喜んでいただきたい。）
- ② 「みなさんが、いやだなと思うようなときでも、ほかの人たちによくしてあげられるように助けてくださるのはどなたですか？ 答えはメッセージですね。一緒に言いましょう。」
「私が、人からしてほしいと思うことをほかの人にしてあげられるよう、イエス様は助けてくださいます。」

2 A 学ぼう・考えよう

「人にしてもらいたいことをほかの人にする」（黄金律）

前もって、子どもたちの日常生活の中から、例になるような場面をいくつか選んでおきます。それぞれの場面で、「人にしてもらいたいことをほかの人にする」にはどうすればよいか、子どもたちに演じさせましょう。

場面 1： パスファインダー・クラブに新しいメンバーが入ってきました。その子はほかのメンバーをだれも知りませんし、恥ずかしがり屋です。みんながその子を歓迎していることを伝えたいとき、あなたならどうしますか？

場面 2： あなたの友だちのことを陰で悪く言っている人がいます。そんなとき、あなたならどうしますか？

場面 3： あなたのチームに、スポーツが苦手な子が入ることになりました。チームのほかのメンバーは、勝てるチャンスが減ってしまうと、そのことをいやがっています。そんなとき、あなたならどうしますか？

質問：

- ①「だれかに、親切にできなかったことがありますか？」(はい。覚えていない。)
- ②「人にしてもらいたいことをほかの人にする」のが、難しいときがあります。それはどうしてでしょうか？」(私たちは生まれつきわがままだから。)
- ③「自分ではなかなかできないことを、できるように助けてくださるのはどなたですか？ フィリピ4：13を読んでみましょう。」(「わたしを強めてくださる方 [イエス様] のお陰で、わたしにはすべてが可能です。)
- ④『黄金律』を実行してみて、みなさんはどんなことを学びましたか？」(子どもたちの答えを聞きます。)

イエス様は、黄金律が天国のルールだとおっしゃいました。いつもこれを覚えていきましょう。

B 黄金のハート

準備する物：金色または黄色の折り紙、マーカー（それぞれ子どもの人数分）

子どもたちに、金色または黄色の折り紙にハートを描き、「ほかの人をたいせつにします」と書きます。何か賛美歌を歌いながら、手に持ったハートの絵を右側の友だちへと順々に手渡していきます。自分のハートの絵が戻ってくるまで歌い続けます。

絵の余白に、何か特別なことをしてびっくりさせたいと思う人の名前を書かせましょう。

質問：

- ①「名前を書いた人にしてあげる、何か親切なことを思いつきましたか？」(はい。まだ。)
- ②「もうその計画を立てた人はいますか？ どんなことをしますか？」(子どもたちの答えを聞きます。)

まとめ

メッセージをもう一度言いましょう。

「私が、人からしてほしいと思うことをほかの人にしてあげられるよう、イエス様は助けてくださいます。」

3 おわりに

輪になってお祈りします。子どもたちが、人にしてもらいたいことをほかの人にできるよう、お祈りしてください。

イエス様は私たちに、人々に仕えなさい、と呼びかけておられます

第2課

先の者が後になる

子どもたちに、
人々に仕えるというのは、
ほかの人を優先することだと教えます。
そうするには、
神様のお助けが必要だと感じさせ、
神様に自分の態度を変えて
いただくように導きます。

マタイ
20：20 - 28、
マルコ
10：35 - 45、
『各時代の希望』
中巻 210 - 216、
364 - 371
ページ参照

■メッセージ■

私がほかの人のことを自分のことより先に考えることを、イエス様は望んでおられます。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様の弟子であるヤコブとヨハネの兄弟は、イエス様のみ国でよい地位につきたいと望みます。そこで彼らに代わって、母親がイエス様にお願いしたのです。イエス様が王座につかれるとき、自分の息子たちをその左右に座らせてください、と。これを聞いたほかの弟子たちは、おもしろくありません。イエス様はヤコブとヨハネをお呼びになり、主のみ国で偉くなりたい者は、みんなのしもべにならなければならないのだ、と諭されます。

◆ここでは、奉仕について学びます。

本当に素晴らしい奉仕を行うことは、地位や権力を求めることと相容れません。自分のためではなく、ほかの人たちのために生きる本当の奉仕を教えてください。一番のお手本が、イエス様なのです。

◆指導される先生の参考のために

「ゼベダイの子ヨハネは、イエスに従った最初の二人の弟子の中の一人であった。彼とその兄弟ヤコブは、キリストの奉仕にすべてを捨てた最初の人たちの

暗唱聖句

「……あなたがたの中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり……なさい。」

(マルコ 10:43、44)

グループにはいていた。……機会のあるたびに、ヨハネは救い主の隣に席を占め、ヤコブはできるだけイエスに一番近いところにいたいとあこがれた。

彼らの母親は、キリストに従う者であって、その財産を惜しまずさげってイエスに仕えた。息子たちに対する母親の愛情と野心から、彼女は息子たちのために新しいみ国の最高の地位をほしがった。彼女は息子たちにこのことをイエスにお願いするように奨励した。

……ヨハネとヤコブは、主の苦難をわかち合うのであった。ヤコブは兄弟たちのうちで最初に剣に倒れ、ヨハネは兄弟たちのうちで最後まで生き残って苦勞と非難と迫害に耐えるのであった。……

ずっとのちになって、弟子ヨハネがキリストの苦難にあずかることによって主と一致するようになったとき、主は、神の国において主の近くにすわることができる条件をヨハネにお示しになった。キリストはこう言われた、『勝利を得るものには、わたしと共にわたしの座につかせよう。』……

十人の弟子たちは、ヤコブとヨハネのたのみについて聞くと、非常に不愉快に思った。み国の最高の地位は、彼らのひとりびとりがねらっていたもので、彼らは、この二人の弟子たちが自分たちに一歩先んじたようにみえることを怒った。……

キリストは、これと異なった原則の上にみ国を築いておられた。主は人々を権力の立場にではなく、奉仕の立場に召し、強い者を弱い者の欠点を負うために召された」(『各時代の希望』中巻 364 - 369 ページ)。

◆教室の装飾

第1課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 79

「一人の手」



1 バイブル・レッスン

登場人物：ヤコブ、ヨハネ、2人の母親、イエス、ほかの弟子たち
上記の役を子どもたちに割り当てます。マタイ 20:20-28 を、次のように割り振って読ませましょう。

【母親】	【イエス様】	【ヤコブとヨハネ】	【ほかの弟子たち】
20 節	21 節上句	22 節下句	24 節
21 節下句	22 節上句		
	23 節		
	25 - 28 節		

質問：

- ①「今読んだお話で、どこが一番好きですか？ それはどうしてですか？」（子どもたちの答えを聞きます。）
- ②「このお話から、どんなことが分かりましたか？」（イエス様は、私がほかの人のことを優先することを望んでおられる。）
メッセージを一緒に言いましょう。
「私がほかの人のことを自分のことより先に考えることを、イエス様は望んでおられます。」

(先生方へ：マルコ 10:35 には、ヤコブとヨハネの母親がお願いしたとは書いてありません。しかし、マタイとマルコの内容を照らし合わせると、母親と息子たちの両方が、イエス様のみ国で高い地位を欲しがったのだと考えられます。)

2 A 学ぼう・考えよう

ほかの人を第一に

準備する物：紙、筆記用具（それぞれ子どもの人数分）

子どもたちを2つのグループに分け、紙と筆記用具を配ります。

グループ1：子どもたちに、家族の絵を描かせます。そして、どのようにしたら家族を優先できるか、絵の横にかかせましょう。言葉でも絵でもかまいません。

グループ2：子どもたちに、友だちの絵を描かせます。そして、どのようにしたら友だちを優先できるか、絵の横にかかせましょう。

作業が終わったら、みんなで発表し合います。

質問：

- 「ほかの人を自分のことより先に考え、大切にできるチャンスは毎日ありますね。」
- ①「ほかの人を優先することをどう思いますか？」（そうしたい。いい気持ちができる。そうしたくないこともある。)

- ②「自分ではそうしたくないときでも、みなさんがほかの人を優先できるように助けてくださるのはどなたですか？」(イエス様——フィリピ4:13)

B 「あなたをゆう先します」保証書

準備する物：「あなたをゆう先します」保証書のコピー（子どもの人数分）

子どもたちに、「あなたをゆう先します」保証書のコピーを配ります。だれにその保証書を渡すかを決めさせ、まずその人の名前を記入させましょう。次に、「今週ぼく／わたしは、_____のために、_____をする前に_____します！」の下線部に文字や絵で、だれのために、何を優先するか、記入させます。

例えば、「**お母さんのために、寝る前に肩たたき**をします」「**お父さんのために、ボール遊び**をする前に**庭仕事**を手伝います」「**先生のために、帰る前に教室の掃除**を手伝います」など。Aの活動で考えたアイデアを使ってもかまいません。これから1週間のうちに、この保証書を相手の人に渡し、その奉仕を実行させます。

質問：

- ①「ほかの人のことを優先すると、家や世の中が住みやすくなるのはどうしてでしょう？」(争いや自分勝手なことが少なくなるから。そのほうが幸せで楽しくなるから。)
- ②「私たちがほかの人のことを自分のことより先に考えることができるように神様に助けてもらうには、どうしたらよいでしょう？」(お祈りする。聖書を学ぶ。)

「保証書を相手の人に渡す計画を立てましょう。そして、そこに書いたことをできるだけ実行してください。」

最後にメッセージをもう一度言いましょう。

「私がほかの人のことを自分のことより先に考えることを、イエス様は望んでおられます。」

あなたをゆう先します 保証書	
今週、ぼく／わたしは、	_____
	_____のために
	_____をする前に
	_____します!
年	月 日
氏名	_____

3

おわりに

私たちが、いつでもほかの人のことを優先して考え、大切にできるよう、神様にお祈りします。

病人を救った友だち

子どもたちに、神様は私たちを用いて人々をご自分の所へ連れてこられるのだと教えます。イエス様の所へだれかを連れていきたいと感じさせ、そのために時間やお金を喜んでささげるように導きます。

マタイ 9：1－8、
マルコ
2：1－12、
ルカ
5：17－26、
『各時代の希望』
上巻 336－343
ページ参照

■メッセージ■

私は、イエス様の所に人々を連れていきたいと思います。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様は、カファルナウムのある家で大勢の人々に教えておられます。ファリサイ派の人々や律法学者たちも聞いています。そこへ、4人の男たちが中風の友人を運んできました。しかし、あまりに人が多くて近づけなかったため、屋根に穴を開け、そこから病人をつり降ろしたのです。それをごらんになったイエス様は、「子よ、あなたの罪は赦される」と病人におっしゃいました。これを聞いたファリサイ派の人々や律法学者たちは、「この男は神を冒瀆している」と心の中で考えましたが、イエス様はそれをお見通しになりました。そこでイエス様は病人に、「起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」とおっしゃり、ご自分が罪を赦す権威を持っておられることをお示しになりました。その男が本当にいやされたのを見て、人々は神様を賛美しました。

◆ここでは、奉仕について学びます。

この中風の男の友人たちのように、私たちも、必要に迫られた人を、どんなことをしてもイエス様の所へ連れていきたいものです。イエス様は、私たちの差し迫った必要を満たし、問題を解決し、罪を赦すことができる唯一のお方だからです。

暗唱聖句

「兄弟愛をもって互いに愛し……なさい。」

(ローマ 12 : 10)

◆指導される先生の参考のために

「ハンセン病人と同じように、この中風患者の回復の望みはすっかり失われていた。彼の病気は罪の生活の結果であって、その後悔のために苦しみは一層ひどかった。彼は心の苦しみと肉体の苦痛から救われたいと望んで、ずっと前からパリサイ人たちや医者たちに訴えていた。しかし彼らは彼の病気はなおらないと冷淡に宣告し、彼を神の怒りにまかせた。パリサイ人は苦悩を神の不快のしるしとみなし、病人や困っている人たちから遠ざかっていた。ところが自分たちはきよい者だといばっている当人たちが、実は彼らが罪人呼ばわりしている苦しむ者たちよりももっと罪が重い場合がしばしばあった」(『各時代の希望』上巻 336 - 337 ページ)。

「中風の友人をイエス様のもとに連れてきた4人の男たちは、土としばで作った屋根を破って友人をイエス様の前に下ろしたと解釈されるのが普通的那样である。この解釈は、屋根は簡単に修理できたという仮定に基づいている。その場合、ルカによる福音書で述べられている瓦は、日干した泥でできていたことになる。しかし、ルカはローマ人を読者として書いており、彼らにとって瓦とは、ローマの瓦ではなかつたらうか。すると、イエスは、家に付属していた柱廊またはベランダの下で話していたことになり、友人たちは屋根に登って瓦を数枚はがした可能性のほうが高くなる」(ラルフ・ガウアー『新・聖書時代の風俗と習慣』41 ページ)。

◆教室の装飾

第1課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 18

プレイズワールド 15

「歩こうイエスの道を」



1 バイブル・レッスン

読むのが上手な子どもたち数人に、交代でルカ 5：17－26 を朗読させ、次に、1人の子どもにローマ 12：10 を朗読させます。

質問：

- ① 「この4人の友だちは、暗唱聖句にあるような兄弟愛を本当に持っていました。どんなところから、それが分かりますか？」(病気の友人のことを兄弟のように心から心配していたから。病気の友人をイエス様のもとに連れていったから。)
- ② 「だれかがとても困ってあなたの所へ来たとしましょう。でも、その問題はあなたにもどうしようもないほど難しいものでした。さあ、どうしますか？」(できる限りのことをする。その人と一緒にお祈りする。その人にイエス様のことを話す。) 誓いの言葉として、メッセージを一緒に言いましょう。
「私は、イエス様の所に人々を連れていきたいと思います。」

2 A 学ぼう・考えよう

奉仕する体

準備する物：新聞紙(数枚)、セロハンテープ、付箋紙、筆記用具、はさみ

前もって、次の作業をしておいてください。新聞紙数枚をセロハンテープで貼り合わせます。それを床に置き、その上に、初等科の生徒ぐらいの子どもの輪郭を描きます。輪郭を切り抜いて、壁に貼りつけておきましょう。

「私たちはみな、イエス様のものです。大きな1つの家族の一員なのです。これは、1つの体と考えてもいいですね。」こう言って新聞紙の子どもの切り抜きを指差します。「私たちがほかの人にイエス様のことを伝えるとき、体のどの部分を使いますか？」

例えば、先生はお話しするのが好きなので口を使います。みなさんはどんなふうに伝えますか？」考える時間を与えましょう。「みなさんが上手にできることを考えついたら、そうするときが一番よく使う体の部分に付箋紙を貼り、自分の名前を書いてください。」(例：腕——なぐさめる、導く：手——お祈りをする、世話をする：耳——聞く)

質問：

腕の部分に貼ってある名前を読み上げて、その子に質問します。

- ① 「ほかの人をイエス様の所へ連れていくとき、腕はどんなふうに役立ちますか？」(親切なことをする。イエス様の所へ連れていくのに必要なお金を渡す。) 脚の部分に貼ってある名前を読み上げて、質問します。
- ② 「ほかの人をイエス様の所へ連れていくとき、脚はどんなふうに役立ちますか？」(人のためにお使いをする。イエス様のことを学べる所に人々を連れていく。) 目、口、手などについても、同じ質問をします。

- ③「今週の物語に出てきた4人の男の人たちは、病気の友だちをイエス様の所へ連れていくのに、体のどの部分を使いましたか？」(腕、脚、目、口、耳、手、頭)
- ④「体の中で、一番大切に、またイエス様の所へほかの人を連れていくのに一番役立つのはどこでしょう？」(どの部分も同じように大切)

B だれを連れていきますか？

準備する物:画用紙(半分のサイズに切ったもの)、鉛筆、黒板またはホワイトボード、セロハンテープ、イエス様の絵(オプション)

「みなさんのお友だちや親戚の中に、まだイエス様のことを知らない人はいませんか？ 特にイエス様のことを教えてあげたいと思う人を、思い浮かべてみてください。」画用紙を配り、さらに次のように説明します。「このカードにその人の絵を描き、その人をイエス様の所へ連れていくにはどうしたらいいか、考えてください。びっくりするような方法でもかまいません。中風の人を助けた4人の友だちも、びっくりするようなことをしましたよね。」

黒板(ホワイトボード)に、大きな字で「イエスさま」と書くか、またはイエス様の絵を貼ってください。1人ずつ子どもたちに、どうやって相手をイエス様の所へ連れていくかを発表させ、その際に、描き終えた絵を「イエスさま」の文字(絵)の下にセロハンテープで留めていきます。クラスの最後には、子どもたちに自分の画用紙を外して家に持ち帰らせましょう。それを見て、自分が発表した方法を思い出せるようにするためです。

まとめ

子どもたち全員が画用紙を「イエスさま」の文字(絵)の下に貼ったのを確認したら、次のように言います。「私たちの一番大切な目標は、人々をイエス様の所へ連れていくことです。それにはいろいろな方法があります。4人の男の人たちは、病気の友だちをどうしてもイエス様に会わせたくて、びっくりするようなことをしました。みなさんも工夫をして、お友だちや親戚をイエス様の所へ連れていくのによい方法を自分で考えてください。」

メッセージをもう一度言いましょう。

「私は、イエス様の所に人々を連れていきたいと思います。」

3 おわりに

子どもたちが各自考えた方法をうまく実行できますように、とお祈りします。

イエス様は私たちに、人々に仕えなさい、と呼びかけておられます

第4課

見ることは信じること

子どもたちに、イエス様の
よい知らせを人々に伝えることは、
その人たちに仕えることだと教えます。
自分には、イエス様がしてくださった
ことを伝える責任があると感じさせ、
そのことを喜んでみんなに
話せるように導きます。

ヨハネ9章、
『各時代の希望』
中巻
262 - 271
ページ参照

■メッセージ■

私は、イエス様が私にしてくださったことを人々に話します。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様は、生まれつき目が不自由だった男をいやして、見えるようになさいました。いやされた男は、ファリサイ派の人々の前に連れていかれ、取り調べを受けます。ファリサイ派の人々は、この男の両親も取り調べますが、両親も、いやされたのは自分たちの息子であり、息子が生まれつき見えなかったのは事実だ、と証言します。いやされた男は、どうして見えるようになったかを説明し、自分をいやしてくれた人は神様から遣わされたに違いない、と言いました。そしてその結果、会堂から追い出されてしまいます。その男を見つけたイエス様は、「私を信じなさい」とお勧めになりました。男はイエス様を信じ、弟子として献身することにしました。

◆ここでは、奉仕について学びます。

イエス様が自分にしてくださったことをほかの人に話すことなら、だれにでもできます。その話を否定することはだれにもできません。それは本当の体験で、説得力があるからです。このようにして個人的な体験を分かち合えば、聞いている人たちは、自分たちも助けてくれるに違いないイエス様のことを、もっと知りたいと思うでしょう。イエス様がしてくださったことをほかの人たちに話すことは、話し手、聞き手のどちらにとっても祝福となります。

暗唱聖句

「……ただ一つ知っているのは、目の見えなかったわたしが、今は見えるということです。」

(ヨハネ 9 : 25)

◆指導される先生の**参考**のために

イエス様が唾を使っていやされたことについて——「古代世界では、唾液にいやしの効果があると広く信じられていた。唾と土をこねることによって、イエスは創世記 2 : 7 の、アダムの創造の行為を象徴されたのかもしれない。イエスは、男の目にこねた土を塗り、シロアムの池に行って目を洗うように、と言われた。近年の発掘によれば、シロアムはギホンの泉を水源に、北東から南東に向かって流れる地下水路から水を引いた大きな貯水池であった。従って、『遣わす者』という意味のこのヘブライ語の名前は、もともとはこの水路を指していた。福音書記者は、この言葉を過去分詞と解釈し、これを、イエスを指してたびたび用いられる『遣わされた者』を暗示するものとした」(ジョージ・バトリック編『インタープリターズ・バイブル』615 ページ)。

◆教室の**装飾**

第 1 課を参照。

◆今週の**歌**

プレイズワールド 11
「さあ、さんびしよう」



1 バイブル・レッスン

子どもたちを4つのグループに分け、次のように言います。「今日は聖書に出てくる目の見えない男の人のことを学びます。その部分を読んでみましょう。」先生がヨハネ9：1-7を朗読する間、子どもたちにもその箇所を目で追わせます。「今度は、グループごとに、イエス様に目をいやしていただいたほかの人のお話を読んでください。」マタイ9：27-31、マタイ12：22、23、マルコ8：22-25、マルコ10：46-52を各グループに割り当てて読ませます。読み終わったらグループごとに、代表者が内容を簡単に発表しましょう。

質問：

- ①「もしみなさんが、顔に泥をつけたままシロアムの池まで歩いていくとしたら、どんな気持ちがするでしょう？」(気持ち悪い。恥ずかしい。)

「ナアマン將軍は、ヨルダン川に行って体を洗うように、と預言者エリシャに言われたときいやがりましたが、この男の人は素直に言われたことを実行しました。それが大切なのです。」
- ②「みなさんは、イエス様からこうしなさいと言われたら、どうしますか？」(その通りにする。最初は文句を言うかもしれない)
- ③「イエス様が助けてくださったとき、どうしますか？ 答えはメッセージですね。一緒に言いましょう。」

「私は、イエス様が私にしてくださったことを人々に話します。」

2 A 学ぼう・考えよう

ありのままを話しましょう！

イエス様が先生に与えてくださった経験で、子どもたちが興味を持つようなお話をみんなに聞かせてください。次に、子どもたちを2人ひと組にし、今先生からお話を聞いて、どういうことが分かったかを話し合えます。

目が見えなかった男は、自分に何が起こったかをほかの人たちに話しました。彼は、自分に起こったことを完全に理解していたわけではありませんが、「ただ一つ知っているのは、目の見えなかったわたしが、今は見えるということです」と言いました。

質問：

「たった今聞いた先生のお話を、一部分でもいいのでだれかに話してみましょう。お話の全部が分かってもいいのです。」

- ①「イエス様がどんなお方で、私たちに何をしてくださったかをだれかに話す前に、聖書が全部分かるようにならないといけないのでしょうか？」(いいえ。聖書が全部分かるまで待っていたら、いつまでたってもイエス様の話なんかできない。)

- ②「イエス様が自分にしてくださったことをほかの人に話すことが、すばらしいのはどうしてでしょう？」(みんな、お話を聞くのが大好きだから。しかも、それが本当に起こったことなら一層面白いから。)

B イエス様がしてくださったこと

準備する物：紙、筆記用具（それぞれ子どもの人数分）

子どもたちに1分間与えて、イエス様が自分にしてくださったことを少なくとも1つ思い出させます。何人かに、それを発表してもらいましょう。その後、次のように質問してください。

「今発表してくれたお話を聞いてもらえる人がいますか？ 先週、イエス様の所へ連れていった人（第3課「だれを連れていきますか？」参照）でもいいですね。」紙と筆記用具を配り、次のように言います。「その人にあげるカードを作りましょう。紙を折ってカードにし、イエス様がみなさんにしてくださったことの絵を描いてください。その絵を説明する言葉も書き入れましょう。それから、『(その人の名前)さん、イエスさまはわたしにこんなことをしてくださいました。わたしはイエスさまが大好きです。イエスさまはあなたのことも愛してくださっていますよ。』と書きましょう。」

黒板にこの言葉を書いて、全員が見えるようにしておくとう作業がしやすいでしょう。最後に自分の名前を書かせます。

まとめ

「心配ごとのある人や、幸せではない人が大勢います。みなさんがイエス様からしていただいたことをお話しするなら、どうすれば心配がなくなって幸せになれるか、その人たちに教えてあげることができますね。今作ったカードをだれかに渡すとき、家族の人と一緒にいってもいいですよ。すぐにカードを渡す計画を立てましょう。」

メッセージをもう一度言いましょう。

「私は、イエス様が私にしてくださったことを人々に話します。」

3 おわりに

子どもたちのカードを受け取る人たちのために、お祈りしてください。





私がどこにいても、神様はその愛で私を見つけてくださいます

第5課

まい子の発見

子どもたちに、イエス様は、
私たちがどこにいても見つけることが
おできになると教えます。
自分はイエス様に愛され、
大切にされていると感じさせ、
イエス様によって罪から
救っていただくように導きます。

マタイ
18：12－14、
ルカ
15：3－7、
『キリストの
実物教訓』
165－172
ページ参照

■メッセージ■

私が遠く離れていても、イエス様は捜しに来てくださいます。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様は、100匹の羊を飼っていた男のたとえ話をなさいます。そのうちの1匹が迷ってしまったとき、その羊飼いは残りの99匹を安全な場所に残して、迷った羊を捜しました。そして、ついにそれを見つけ出すと優しく連れ帰り、友だちや近所の人たちを呼び集めて、大事な羊が見つかったことを一緒に喜んでもらったのです。

◆ここでは、恵みについて学びます。

迷った羊のような人が大勢います。自分が迷っていることは分かっているのに、どうやって帰ればいいのか分からないのです。羊飼いが1匹1匹の羊を大切にするように、神様も1人ひとりの人間をととても大切になさっておられます。そして、迷った人を救い、家に帰らせるためなら、どんなことでもしてくださるのです。羊が救われたのは、羊が鳴いたからではありません。羊飼いが捜してくれたからです。「救済は、人間が神様を捜し求めることではなく、神様が人間を捜し求めることにある」(『SDA聖書コメンタリー』第5巻447ページ)。

暗唱聖句

「……これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。」

(マタイ 18 : 14)

◆指導される先生の参考のために

「東方の羊飼いたちは、通常、羊をそれぞれ個別に知っており、群れの中の1匹としてではなく、個々の羊のために心を込めて世話をした。またそればかりでなく、1匹の羊の損失は、収入にかなりの違いをもたらしたのである。たとえの中で、羊が迷子になったのは、明らかにその無知と愚かさゆえであった。そして、いったん迷子になると、帰る道を見つけることは全く不可能に思えた。羊は、自分が迷子になったことに気づいたものの、どうしたらよいか分からなかったのである。この1匹の迷える羊は、罪人1人ひとりと、失われたこの世界の双方を表している。このたとえば、イエスが、罪を犯したこの世界のために死なれたように……1人の罪人のためにも死なれたであろうことを教えているのである」(『SDA 聖書コメンタリー』第5巻815ページ)。

◆教室の装飾

第1課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 45
「ちいさいひつじが」



1 バイブル・レッスン

子どもたちに、ルカ 15 章を開かせ、何人かを指名して 3 節から 7 節までを朗読させます。そして、次の質問の答えを聖書の中から見つけさせましょう。

- ①羊飼いは、どのくらい長い時間羊を捜しましたか？ (4 節)
- ②羊が見つかったとき、羊飼いはどうしましたか？ (5 節)
- ③羊飼いはそのことをだれに話しましたか？ (6 節)
- ④ 1 人の罪人が悔い改めるとき、どこで大きな喜びがありますか？ (7 節)
- ⑤このお話の羊飼いはだれを表していますか？

質問：

- ①「私たちの羊飼いはどなたですか？」(イエス様。)
- ②「今のお話から何がわかりますか？」(イエス様は迷った人を見つけるためならどんなことでもなさる。決してあきらめない。)
- ③「みなさんが希望をなくしたとしたらそのとき何を思い出しますか？ 答えはメッセージですね。一緒に言いましょう。」
「私が遠く離れていても、イエス様は捜しに来てくださいます。」

2 A 学ぼう・考えよう

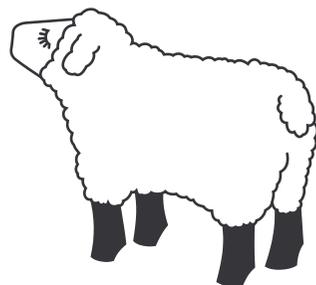
羊飼いに歌ってあげましょう

準備する物：羊の切り抜き (子どもの人数分)、箱または大きな封筒 (1 つ)

前もって、次の歌詞を全員が見える所に書いておきましょう。羊の切り抜きを子どもたちに配り、羊の片面に自分の名前を書かせます。私たちが神様から遠く離れていても、神様が捜してくださることがよく分かるように、次の歌詞を『ロンドン橋落ちた』のメロディーで歌いましょう。

- 1) わたしが迷っても 迷っても 迷っても
神さまが愛で 見つけます
- 2) わたしは羊 羊 羊
イエスさまの大事な 羊です

次に、羊の切り抜きの裏面に、イエス様から遠く離れているだれかの名前を書かせます。先生は羊小屋に見たてた箱または封筒を両手で抱えて立ち、名前を書いた切り抜きをその羊小屋の中に入れさせましょう。子どもたちが先生の所へ切り抜きを持ってくる間、みんなで 3 番目の歌詞を歌います。



- 3) あなたが迷っても 迷っても 迷っても
神さまが愛で 見つけます

質問：

- ①「迷子の羊は、自分が迷っていると分かっています。もしみなさんが迷子の羊なら、どんな気持ちだと思いますか？」(怖い。家に帰りたい。)
- ②「羊飼いが助けに来てくれたらどう思いますか？」(ほっとする。うれしい。感謝する。)

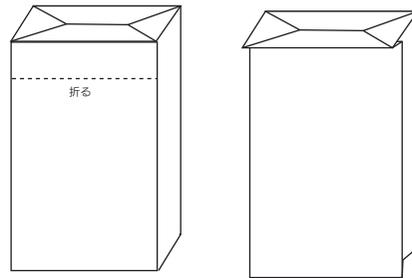
「みなさんはイエス様にとって、とても大切なのです。イエス様はみなさんの優しい羊飼いです。みなさんが迷ったときは、メッセージを思い出してください。」

B 羊の人形**準備する物：紙袋、白い毛糸、マーカー、接着剤**

子どもたちに紙袋を配ります。紙袋にマーカーを使って、顔を描かせ、頭に毛糸を接着して羊にします。(図参照)

まとめ

「この羊の人形を使って、今日学んだ迷子の羊のお話をだれかに聞かせてあげましょう。」

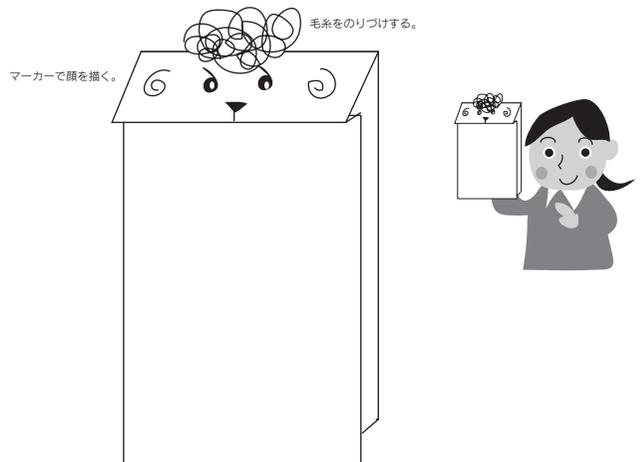
**質問：**

- ①「だれにお話ししますか？」(子どもたちに発表させます。)
- ②「羊のお話のほかにも、何を伝えますか？」(イエス様はあなたのことをとても愛しておられ、あなたが迷ったら、見つかるまで捜してください。)

「お話をするとき、メッセージも教えてあげてください。」

メッセージをもう一度言います。

「私が遠く離れていても、イエス様は捜しに来てくださいます。」

**3 おわりに**

罪に迷った私たちを救ってくださるイエス様に、感謝のお祈りをささげます。



私がどこにいても、神様はその愛で私を見つけてくださいます

第6課

あまりにも大切なもの

子どもたちに、
私たちが迷ったとき、
たとえ私たち自身が心配していなくても、
イエス様は心配しておられるのだと教えます。
自分はイエス様にとって大切なんだと
感じさせ、イエス様の愛を受け入れ、
その愛を人々に分かち合えるように導きます。

ルカ
15：8－10、
『キリストの
実物教訓』
172－178
ページ参照

■メッセージ■

イエス様は私を大切に思い、必ず捜してくださいます。

◆聖書で学ぶことの要約

迷子の羊の話に続いて、イエス様は銀貨をなくした女の話を行なさいました。この女は、銀貨を10枚持っていたのですが、そのうちの1枚を家の中でなくしてしまいます。彼女は、明かりをつけ、家中を掃き、見つかるまで一生懸命捜します。そして銀貨が見つかり、友だちや近所の人たちを呼び集めて、一緒に喜んでもらったのです。

◆ここでは、恵みについて学びます。

人間の魂は、それ自体が価値あるもので、神様のお姿が刻まれた銀貨のようなものなのです。失われた銀貨は、身近な場所（家庭、教会など）で罪の中に迷ってしまった人間を表しています。神様は、福音の明かりを灯して、そのような人間たちを捜しておられ、無関心だった者が1人見つかるごとに、天国では大きな喜びがわき上がるのです。

暗唱聖句

「人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである。」
(ルカ 19:10)

◆指導される先生の**参考**のために

「この二つのたとえは異なった種類の人々をあらわしている。道に迷った羊は、迷っていることを知っている。羊は羊飼いとおりを離れて、自分で元のところへもどれないでいる。これは、自分が神から離れて、行きづまり、恥辱とはげしい誘惑の中にいることを自覚する人々を代表している。ところがなくなった銀貨は、罪過と罪との中に失われた状態にありながら、それを自覚していない人々をあらわしている。……キリストは、神のご要求に無関心な人々でさえ、神は憐れみ深くお愛しになることを、このたとえの中で教えておられる」(『キリストの実物教訓』173 ページ)。

「先の『見失った羊』のたとえ話が男性の聴衆に向かって語られたと思われるのに対して、このたとえ話は女性の聴衆に向けて語られたと思われる。イエスは、女性が特に関心を持ちそうなたとえをよくお用いになった」(『SDA 聖書コメンタリー』第5巻816 ページ)。

◆教室の**装飾**

第1課参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 28
プレイズワールド 32
「おきてうたおう子どもたちよ」



1 バイブル・レッスン

準備する物：黒板またはホワイトボード、チョークまたはマーカー

虫食い問題です。全員が見える所に、前もって次の文章を書いておきます（答えの部分は空白にしておきます）。

「銀貨を（10枚）持っている（女）がいて、その（1）枚をなくしたとすれば、（ともし火）をつけ、（家）をはき、（見つける）まで（念を入れて）さがさないだろうか。そして、見つけたら、（友達）や（近所の女たち）をよび集めて、『（なくした銀貨）を見つけましたから、いっしょに（喜んで）ください』と言うであろう。言っておくが、このように、1人の（罪人）がくい改めれば、神の（天使たち）の間に（喜び）がある。」

子どもたちに、ルカ 15 章を開かせ、8 節から 10 節までを、希望する子どもに読ませます。その後、空白に入れる言葉を尋ねてください。

質問：

- ① 「なくした銀貨のお話で、どの部分が好きですか？」（銀貨を見つけるところ。）
- ② 「見つけてもらうために、銀貨は自分で何かしましたか？」（いいえ。）
- ③ 「神様は、迷って神様から離れてしまっている人間をどう思っておられますか？」（早く戻ってきてほしい。）
- ④ 「神様はその人たちのためにどうなさいますか？」（捜す。）
- ⑤ 「神様は、迷っている人間をどんなふうに捜されますか？」（私たちを送って神様のお話をさせる。教会のラジオ番組やテレビ番組を使う。聖霊を送って気づかせる。）

2 A 学ぼう・考えよう

特別な硬貨

準備する物：肖像が刻印されている外国の大きな硬貨（数枚）、丸く切り抜いた大きな紙、鉛筆（それぞれ子ども的人数分）、カラーのマーカー

子どもたちを輪の形に座させます。肖像のある硬貨を回し、子どもたちにその肖像をよく見るように言いましょう。そして、丸い紙、鉛筆、マーカーを配ります。紙の片面に自分の肖像を描いて紙の硬貨を作らせます。肖像の上には名前も書き入れましょう。完成したら、その硬貨を左隣の人に渡します。受け取った人は、肖像になっているお友だちのよいところ（例えば、「いつも助けてくれる。」）を硬貨の裏側に書きます。書き終わったら、また左隣の人に硬貨を渡します。自分の硬貨が戻ってくるまでこれを繰り返します（人数が多いときは、いくつかのグループに分けるとよいでしょう）。

その後、硬貨を全部集めて山にします。子どもたちに、1人ずつその山の中から自分の硬貨を見つけさせます。

質問：

「みんな、自分の硬貨を見つけられましたね。みなさん自身が特別なように、それぞれの硬貨も特別なものです。神様はみなさんをそのようにお造りになりました。なくした硬貨が女の人にとって特別だったように、みなさんは神様にとって特別なのです。」

- ①「自分の硬貨の裏にいろいろな言葉を書いてもらって、どんな気持ちになりましたか？」(自分は特別なのだと感じた。うれしかった。)
 - ②「私たちは、お互いにとっても特別なのですよ。もしみなさんが迷って、勇気をなくしてしまったら、何を思い出しますか？ 答えはメッセージですね。さあ、一緒に言いましょう。」
- 「イエス様は私を大切に思い、必ず捜してくださいます。」

B

お金のプレゼント

準備する物：紙幣のコピー（「イエスさまは、あなたを愛しています。」という言葉が書かれている）、筆記用具（それぞれ子ども的人数分）、はさみ、本物の紙幣や硬貨

子どもたちに、いろいろな紙幣や硬貨を見せます。子どもたちとお金と、どちらが価値があるか、尋ねてみましょう。そして、今日学んだ「無くした銀貨」のお話を聞かせてあげたい人を考えさせます。次に、紙幣のコピーを配ります（63 ページ参照）。紙幣の表に、今考えた人の顔の絵を、裏にその人の名前を書かせます。こうして作った紙幣を切り抜いて、その人にプレゼントさせましょう。

質問：

- ①「この『お金のプレゼント』を、相手の人にいつあげますか？」(子どもたちの答えを聞きます。)
 - ②「何と言って渡しますか？」(子どもたちの答えを聞きます。)
 - ③「みなさんは、イエス様にとってどのくらい大切ですか？」(ものすごく。)
 - ④「自分がだれかにとってとても大切だと思うと、どんな気持ちになりますか？」(いい気持ち。うれしい。安心する。)
- もう一度メッセージを言いましょう。
- 「イエス様は私を大切に思い、必ず捜してくださいます。」

3

おわりに

私たちを見つけ出し、救うためにどんなことでもしてくださるイエス様に感謝しましょう。子どもたちがこのよい知らせをほかの人と分かち合えるように、お祈りしてください。



私がどこにいても、神様はその愛で私を見つけてくださいます

第7課

あらしの中でも だいじょうぶ

子どもたちに、イエス様は、
私たちが困っているときに
助けてくださると教えます。
イエス様がいつも一緒に
いてくださるから安心だと感じさせ、
どんなときでもイエス様に助けを
求め、信頼するように導きます。

マタイ 8 : 23 -
27、マルコ 4 :
35 - 41、ルカ
8 : 22 - 25、
『各時代の希望』
中巻
55 - 61
ページ参照

■メッセージ■

私が困っているとき、イエス様は助けてくださいます。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様は1日の働きを終えて疲れておられます。そこで群衆から離れるため、ガリラヤ湖の向こう岸に渡ろう、と弟子たちにおっしゃいました。舟に乗り込むと、イエス様は眠ってしまわれました。すると突然、激しい嵐が襲ってきたのです。弟子たちは、舟がひっくり返らないように一生懸命がんばります。しばらくして彼らは、イエス様が乗っておられることを思い出し、「助けてください!」と叫びました。イエス様は嵐をお静めになり、「あなたがたの信仰はどこにあるのか?」と弟子たちに尋ねられました。

◆ここでは、恵みについて学びます。

イエス様は、ご自分の子どもたちをしっかりと守ってくださいます。イエス様は私たちのことをよくご存知であると共に、とても愛しておられます。ところが私たちは、イエス様のことをあまり知らず、自分の身に降りかかる危険を解決してくださるイエス様のお力を軽んじがちなのです。ですから、しょっちゅうあわてふためき、せっぱ詰まってからイエス様におすがりします。しかしそれでも、イエス様はいつも穏やかに待っていてくださいます。

暗唱聖句

「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。
……心を騒がせるな。……」

(ヨハネ 14 : 27)

◆指導される先生の**参考**のために

「ガリラヤ湖は周囲を丘に囲まれており、その湖面は海面下 209 メートルにある。丘から吹き下ろす風は、湖に近づくにつれて強まり、突然激しい嵐になることがある」(『ライフ・アプリケーション・バイブル』1691 ページ)。

「イエスが群衆を解散させられると、弟子たちはイエスをそのまま舟にのせて、いそいで舟をこぎ出した。だが出かけたのは彼らだけではなかった。岸の近くにはほかにも魚とりの舟があったので、それらの舟は、イエスに会ってみことばを聞きたいとまだ熱望してイエスについて行く人たちでたちまちいっぱいになった。……夜は静かで気持がよく、静けさが湖をおおっていた。しかしにわかには、くらやみが空一面にひろがり、……すさまじい嵐が湖をおそった。

……この屈強な漁師たちは、これまで湖で生活し、何度嵐に会っても安全に舟をあやつってきたが、こんどだけは彼らの腕も力も役にたたなかった。……

彼らは自分たちのいのちを救うことに熱中していたので、舟の中にイエスがおられることを忘れていた。いま……思い出した。無力と絶望のはてに、彼らは、『主よ、主よ、』と叫んだ。……もう一度彼らは叫んでみる。……もはや舟は沈みはじめている。……突然一すじのいなすまがくらやみをつらぬいて光る。するとこのさわぎにじゃまされないう横になったまま眠っておられるイエスのお姿が彼らの目にうつる。……

彼らの叫び声がイエスを起す。いなすまのひらめきがイエスのお姿を照し出すと、そのお顔には天の平安がみられる。……

……弟子たちが最後の努力をかたむけるためにオールをにぎりしめると、イエスが立ちあがられる。……イエスは、これまでも幾度かあわれみの行為に使われたみ手をあげて、荒れ狂う海に、『静まれ、黙れ』と言われる。……

……イエスについて行くために出かけてきた舟は、弟子たちと同じ危険に出会った。それらの舟に乗っていた人たちは恐怖と絶望にとりつかれたが、イエスの命令によって嵐の騒ぎは静まった。激しい嵐に吹きまわられて舟は一つとところにかたまっていたので、舟の上の者はみなその奇跡を目に見た。静けさがやってくると、恐怖は忘れられた。人々は互に、『このかたはどういう人なのだろう。風も海も従わせるとは』とささやきあった」(『各時代の希望』中巻 56 - 59 ページ)。

◆部屋の装飾

第1課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 24、プレイズワールド 7
「いのってごらんわかるから」

1 バイブル・レッスン

準備する物：しおりにする細長い紙片（子ども1人に2枚ずつ）

子どもたちにマルコ4章とルカ8章を開かせ、しおりを挟ませます。そして、「マルコとルカの2人とも、イエス様が嵐を静めるお話を書きました（マタイも書いていますが……）」と説明しましょう。次に、以下の質問を読み上げ、聖書のどこを見れば答えが見つかるか、ヒントも与えます。このヒントの聖句を最初に見つけた子どもが、立ち上がって質問に答えます。

1. ある日、イエス様は弟子たちに何とおっしゃいましたか？（ルカ8：22）
2. そのとき、イエス様と弟子たちの乗った舟のほかにも湖に舟が出ていたことが分かるのは、どうしてですか？（マルコ4：36）
3. 舟に乗ったイエス様は、どうなさいましたか？（ルカ8：23）
4. 嵐が来たとき、どうになりましたか？（ルカ8：23）
5. 弟子たちは、イエス様に何と言いましたか？（ルカ8：24）
6. イエス様は、どうやって嵐を静められましたか？（マルコ4：39）
7. イエス様は、弟子たちに厳しい質問をなさいます。それはどんな質問でしたか？（マルコ4：40）
8. 驚いた弟子たちは、互いに何と言いましたか？（ルカ8：25）

質問：

- ①「もしあなたがその舟に乗っていたとしたら、どんな気持ちになったでしょう？」（怖い。ずぶぬれになっていやな気持ち。）
- ②「もしあなたがその舟に乗っていたとしたら、どうしたと思いますか？」（子どもたちの答えを聞きます。）
- ③「このお話の中で、どの部分が一番好きですか？」（子どもたちの答えを聞きます。）
「マタイ、マルコ、ルカの3人とも、このでき事を書いています。みなさんは、このお話をどんなふうにはほかの人に伝えますか？家で礼拝をするときに、このお話を家族に話してみましよう」。

2 A 学ぼう・考えよう

心配を静めるもの

準備する物：筆記用具、小さな紙（それぞれ子どもの人数分）、黒板またはホワイトボード、チョークまたはマーカー

前もって、以下の聖句を紙片の下半分に書いておきます。

- 「心を騒がせるな。おびえるな。」(ヨハネ 14:27)
 「どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。」(フィリピ 4:6)
 「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。」(詩編 23:1)
 「打ち砕かれた心の人々を癒し／その傷を包んでくださる。」(詩編 147:3)
 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」(マタイ 28:20)
 「わたしの助けは来る／天地を造られた主のもとから。」(詩編 121:2)
 「落ち着いて、静かにしていなさい。恐れることはない。」(イザヤ 7:4)

次のように質問します。「みなさんはどんなことが怖いですか？ また、どんなことが心配ですか？」数分間、いろいろな意見を出させます。黒板(ホワイトボード)に7つまで意見を書き、それを読み上げて次のように言います。

「この7つを、私たちの『心配』と呼びましょう。これから先生が、『心配』を静めるような聖句を聖書から抜き出して、みなさんに教えます。先生はこの聖句を『静めるもの』と呼びます。」上記の聖句を書いた紙を子どもたちに配ります。「先生は、『心配』を1つ読むたびに、指、脚、腕、頭のどれかを指しますから、席を離れずに、みなさんはそれを振ってください。その後、先生は『静めるもの』を1つ読みます。先生が『静めるもの』を読んだら、みなさんは体のその部分を振るのをやめてください。」『心配』と『静めるもの』を交互に読み続けます。

質問：

- ① 「『静めるもの』の聖句を聞いて、どう感じましたか？」(心が落ち着いた。)
- ② 「不安や心配があるとき、どうすればいいですか？」
- ③ 「そんなとき、今先生が読んだ『静めるもの』のような聖句を読むと、助かりますか？」
- ④ 「『静めるもの』を聞かせてあげたい人がいますか？」(子どもたちの答えを聞きま

す。)

「みなさんに配った紙を半分に折ってください。聖句が必ず内側に来るように折りましょう。これをグリーティングカードにしますから、表側に絵を描いて色を塗りましょう。そして、このカードをだれかにプレゼントしてください。そのとき、メッセージも伝えてくださいね。」

メッセージをもう一度言ひましょう。

「私が困っているとき、イエス様は助けてくださいます。」

3

おわりに

私たちを見つけ出し、救うためにどんなことでもしてくださるイエス様に感謝します。子どもたちが、このよい知らせをだれかと分かち合えるようにお祈りしてください。



私がどこにいても、神様はその愛で私を見つけてくださいます

第8課

神さまにお会いする 約束の日

子どもたちに、神様は、私たちが
神様と一緒に過ごせるように安息日を
定められたのだと教えます。
安息日に神様のいやしの愛を
知ることによって喜びを感じさせ、
自然や教会の中にある神様の愛に
目を向けるように導きます。

マタイ 12:1 –
13、マルコ 2:
23 – 3:5、ル
カ 6:1 – 10、
『各時代の希望』
上巻
360 – 373
ページ参照

■メッセージ■

安息日は、神様の愛をさらに学ぶ日です。

◆聖書で学ぶことの要約

ある安息日のこと、イエス様と弟子たちは、麦がよく実った畑の中を通りかかります。弟子たちはおなかが空いていたので、麦の穂を摘んで食べました。するとファリサイ派の人々がこれを見とがめて、「彼らは安息日にはしてはならないことをしている」と非難してきたのです。イエス様は、ダビデが神の家に入ってお供えのパンを食べたときのことを引き合いに出して反論なさいました。そして、「私が安息日の主だ」と主張されたのです。その後、イエス様は会堂に入られて、そこにいた片手の不自由な人をお癒しになり、安息日によいことをしてもかまわないことを、別の形でお示しになりました。

◆ここでは、恵みについて学びます。

安息日は、神様が人間に与えてくださった愛の贈り物の1つです。この日は、私たち人間が仕事をやめ、神様のあがないの愛のみ業をよりよく理解するようにと、神様からお招きいただいている特別な時間なのです。

暗唱聖句

「人の子は安息日の主なのである。」

(マタイ 12:8)

◆指導される先生の**参考**のために

「ダビデが、聖なる用にとっておかれたパンを食べて空腹を満たしたことが正しかったならば、弟子たちが安息日の聖なる時間に麦をつんで、彼らの必要を満たしたことは正しかった。また宮の祭司たちは、安息日にはほかの日よりも大きな働きをした。世俗の働きを同じようにすれば罪となるのであるが、祭司の働きは神の奉仕であった。彼らはキリストのあがないの力をさし示す儀式を行っているのであって、その働きは安息日の目的と一致していた」(『各時代の希望』上巻 366 ページ)。

◆教室の**装飾**

第1課を参照。

◆今週の**歌**

プレイズワールド 39
「主にハレルヤ」



1

バイブル・レッスン

子どもたちにマタイ 12:1-13 を順番に読ませるため、次のように役割を分担させてください。語り手 (2名以上)、ファリサイ派の人々 (2名以上)、イエス様 (1名)。

◇ 語り手：1 節、2 節前半

★ イエス様：3 - 8 節

◆ ファリサイ派の人：10 節後半

◇ 語り手：13 節後半

◆ ファリサイ派の人：2 節後半

◇ 語り手：9 節、10 節前半

★ イエス様：11 節 - 13 節前半

質問：

「マタイ 12：1－13 の中で、イエス様は安息日に 2 つの場所に行かれました。」

- ①「イエス様が行かれた 2 つの場所とは、どこどこですか？」(自然の中と教会。)
 - ②「みなさんは、自然の中や教会に行くのが好きですか？ それはどうしてですか？」
(子どもたちの答えを聞きます。)
 - ③「自然や教会で、神様の愛についてどんなことが学べますか？」(自然の中にいると、神様が人間のために美しいものを造ってくださったことが分かる。)
 - ④「今日学んだお話の中で、イエス様はご自分の安息日の過ごし方を通して、どんなことをお教えになりましたか？」(安息日には、よいことをどンドンしなさい。安息日は癒しの日だ。)
- メッセージを一緒に言いましょう。「安息日は、神様の愛をさらに学ぶ日です。」

2 A 学ぼう・考えよう

特別な計画

準備する物:紙 (子どもの人数分)、鉛筆 (子どもの人数分)、黒板またはホワイトボード、チョークまたはマーカー

「神様は、私たちが神様と一緒に過ごして、その愛について学べるように、安息日をお定めになりました。次の安息日に神様と特別な時間が過ごせるように、今のうちから計画を立てましょう。次の質問の答えを紙に書いて計画表をつくりま

「イエスさまといっしょにすばらしい安息日を過ごそう！」

1. 安息日について、あなたを笑顔にする言葉を 5 つ書いてください。
2. 安息日が始まる前の一週間の間に、安息日のためにどんな準備ができますか。
3. 安息日に、みんなでおいしく食べられる食事を考えてください。
4. 家族と一緒に、安息日を楽しく迎える計画をたてましょう。
5. 安息日の朝、家族のみんなをどんなことをして楽しませることが出来ますか。
6. 安息日の午後に家族と過ごす計画をたてましょう。
7. 安息日が終わる前に安息日を作ってくれたイエス様にどのように感謝するかを考えましょう。

質問：

- ①「安息日のどういうところがうれしいですか？ 計画表の質問 1 の下に答えを書いてください。計画の中に、みなさんが神様の愛を学ぶためにすることを必ず入れましょう。」
 - ②「次の安息日を楽しくするアイデアがもう浮かんだ人はいますか？」(子どもたちにアイデアを発表させ、黒板 (ホワイトボード) に答えを書き出します。)
- 「ここに書いたアイデアを家で使って、次の安息日を楽しくすることができるかもしれませんね。使いたいアイデアがあったら、自分の計画表の裏に書き写してください。」

B 安息日のお楽しみ

準備する物：お知らせのプリント、鉛筆、紙、のり、はさみ

前もって牧師先生に、初等科で『楽しい安息日』という題の小冊子を作る計画を話し、教会員のみなさんに冊子作りを手伝ってもらうため、週報に次のような文面のプリントを挟む許可を得ておきます。

◆親愛なる教会員のみなさま◆

このたび初等科のクラスでは、安息日について学びました。安息日は、神様の愛を学ぶ日です。そこで初等科では、学んだことを形に表すため、『楽しい安息日』という小冊子を作ることにしました。

作成にあたり、ぜひみなさまのご協力をお願いいたします。みなさまが安息日にご家庭でなさっている楽しい行事や活動のうち、神様の愛を学べるものがありましたら、このプリントの下の欄に内容をご記入の上、次の安息日までに初等科担当者にお渡しください。それをまとめて、みなさまにもお役に立てる小冊子が作れたらすばらしいと思います。

ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

安息日学校初等科

安息日の楽しい活動： _____

冊子の表紙を子どもたちにデザインしてもらいます。子どもたちが好きな安息日の活動や、神様の愛を学べるような活動を描かせます。描き終えた絵を集めて輪郭を切り抜き、配置を考えてコピーを取ってください。字が上手な子どもに、『楽しい安息日』という題も書かせます。後日これが、表紙の原紙になるのです。

子どもたちにプリントを家へ持ち帰らせ、家族に必ず記入してもらい、次の安息日に持ってくるように言います。

質問：

- ①「安息日の活動で、どんなことが好きですか？」
- ②「これから安息日の守り方を、どう変えたいですか？」
- ③「どんな活動を安息日に続けたいですか？」
- ④「今日の午後、神様の愛をもっと学ぶために何をしますか？」

メッセージをもう一度言いましょう。

「安息日は、神様の愛をさらに学ぶ日です。」

3 おわりに

今日の安息日に、子どもたち1人ひとりが神様の愛についてさらに学べますように、とお祈りします。『フレンズ』12番「ながめよイエスを」をみんなで歌いましょう。



私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません

第9課

つらい選び

子どもたちに、
イエス様は私たちを愛するがゆえに、
たいへんな苦痛を
お受けになったのだと教えます。
イエス様を苦しめる原因になった
罪を憎いと感じさせ、イエス様の
大いなる愛を賛美するように導きます。

マタイ 26 : 36
- 56、マルコ
14 : 32 - 50、
ルカ 22 : 39 -
53、ヨハネ 18 :
1 - 12、
『各時代の希望』
下巻 173 - 189
ページ参照

■メッセージ■

私を救うことを選んでくださったイエス様に感謝します。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様は祈るために、弟子たちを連れてゲッセマネの園へ行かれます。これから起こる事態に立ち向かうには、力が必要だとお感じになったからです。イエス様は、一緒に祈るように、と弟子たちにお求めになりました。しかし、弟子たちはとても疲れていて、目を覚ましていただけません。イエス様は苦しみながら1人で祈られました。イエス様は世の中のあらゆる罪を背負われたので非常に苦しめますが、私たちを救うためにしなければならないことをしようと決心なさいます。この後、最愛の弟子の1人であったユダに裏切られ、捕らえられ、連れていかれ、イエス様の苦しみはさらに深まるのでした。

◆ここでは、礼拝について学びます。

世界のすべての罪を償うために、イエス様は神様から切り離されることとなります。このことが、イエス様にたいへんな痛みと苦しみをもたらしたのです。このような大いなる愛に対して、私たちは深い感謝を感じずにはられません。

暗唱聖句

「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。
しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」
(ルカ 22 : 42)

◆指導される先生の**参考**のために

「ゲッセマネは、アラム語の『油搾り機』という言葉に由来する」(『S D A 聖書コメンタリー』第5巻524ページ)。

「ユダヤ人たちは庭園を好んだが、庭園を持つことができたのは、一部の非常に裕福な人たちだけであった。市内にも、市の境の壁の外側にも庭園があって、夕涼みを楽しむことができた。ゲッセマネの庭園は1つだったのではなく、オリブ山のゆるやかな裾野にたくさんの庭園があり、夕方になると裕福なエルサレム市民がそこへ繰り出したのである。イエスの生涯の最後に登場する庭園は、アリマタヤのヨセフのものだった可能性も十分にある。ヨセフは救い主のために庭園の中の墓も提供した」(ラルフ・ガウアー『新・聖書時代の風俗と習慣』303、304ページ)。

◆教室の**装飾**

第1課を参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 14、プレイズワールド 83
「愛 アイ あい」

1

バイブル・レッスン

「マタイ 26 章を開きましょう」と言い、次の質問をします。各質問ごとに子どもを1人指名し、答えの箇所を朗読させます。

質問①「イエス様が、弟子たちをゲッセマネの園へ連れていかれたのは何をするためでしたか？」(マタイ 26 : 36) (お祈りするため。)

質問②「イエス様は、神様にどんなお願いをされましたか？」(39節) (「できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。)」ここで「杯」という言葉がどんな意味で使われているのか、話し合います。

質問③「そのお願いに続いて、イエス様は神様に何とおっしゃいましたか？」(39節 下句) (「しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。)」

質問④「イエス様はどうしてそのようにおっしゃったのでしょうか？」(イエス様は人間を助けるためなら必要なことは何でもしようと思っておられたから。)

質問⑤「弟子たちは、イエス様のために何ができたでしょう？」(38節)(苦しんでおられるイエス様と一緒に祈ることができた。)

「その夜イエス様は、ゲッセマネの園で悲しみ、苦しんでおられました。それでも、人間を助けるためなら何でもします、と神様におっしゃったのです。このことから、私たちに対するイエス様と父なる神様の愛について、どんなことがわかりますか？ローマ8：38、39を読んでみましょう。」

質問：

- ①「私たちがイエス様を愛しており、イエス様に感謝していることをお伝えするには、どうしたらいいでしょう？」(お祈りや賛美歌でお伝えする。行動で示す。)
- ②「愛するとは、どういうことでしょうか？ ヨハネ1・3:16を読んでみましょう。」(だれかの代わりに自分の命を捨てること。)
- ③「イエス様が私たちに愛の贈り物をくださったことについて、どう思いますか？メッセージで答えましょう。」
「私を救うことを選んでくださったイエス様に感謝します。」

2 A 学ぼう・考えよう

つらい杯

準備する物: 苦い飲み物が入ったコップ (1つ)、小さな紙片 (たくさん)、空の紙コップ (1つ)、イエス様のステッカー (1枚)

苦い飲み物が入ったコップを持ってきて、次のように説明します。

「イエス様がゲッセマネの園で、『この杯をわたしから過ぎ去らせてください』と神様に祈られたとき、ここにあるような苦い飲み物が入ったコップのことをおっしゃっていたわけではありません。イエス様は、『十字架にかかって死ななければならない』ということをおっしゃっていたのです。イエス様は、自分が死んでしまうことによって、父なる神様から離れたくなかったのです。でも、父なる神様と一緒に造った人間たちを救うためにご自分が死ななければならないのなら、そうします、とイエス様はおっしゃいました。イエス様は1人ひとりの人間をとっても愛しておられたからです。」

次の質問をしてください。

- ①「今までに、腹が立ったり、ねたましいと思ったりしたことはありますか？」
- ②「そういう気持ちから、だれかを傷つけるようなことをしたり、言ったりしたことがありますか？」
- ③「イエス様が死ななければならないのは、私たちがどんな悪いことをするからですか？」

子どもたちの答えを紙片に書いていき、それを子どもたちに1枚ずつ配ります。

「私たちが悪いことをしたり、言ったりするのは、私たちが罪人で、罪に満ちた世界に生きているからです。」空の紙コップの外側にイエス様のステッカーを貼ったものを見せ、次のように説明してください。「さあ、これが、イエス様がゲッセマネで私たちにしてくださったことです。その夜イエス様は、とても怖くて悲しい気持ちで

した。でも、神様に向かって、こんなふうにおっしゃったのです。『人間たちがやった悪いことを全部私のコップの中に入れてください。全部私にらせてください。そして私は人間たちの罪のために死にます。』紙片をイエス様のコップに入れさせます。

質問：

- ①「イエス様はどうしてみんなの罪をご自分のコップに入れてほしいと思ったのでしょうか？」(私たちを愛しておられたから。)
- ②「そのことをどう思いますか？ イエス様に何と仰りたいですか？」

B 感謝のコップ

準備する物：小麦（紙）粘土、小さい紙皿、リボン、筆記用具（それぞれ子どもの人数分）、紙片（多数）、穴あけ機

子どもたちに粘土を配ります。その3分の2を丸めてコップを作らせます。お手本を見せてやってください。丸めた粘土の真ん中を2本の親指でゆっくり押せばよいのです。残りの粘土で取っ手を作りましょう。紙皿を配り、作ったコップをその上に乗せます。

次に、小さい紙片に、イエス様あての感謝の手紙を書かせます。短いものでかまいません。その紙片に穴あけ機で穴をあけ、その穴にリボンを通し、コップの取っ手に結びつけます。

「作りながら、このコップをだれにプレゼントするか、考えましょう。コップができたなら家へ持って帰って、だれかにイエス様の杯のお話をして、イエス様がその人のことをどんなに愛しておられるかを教えてあげましょう。イエス様の愛はとてすばらしい、特別な愛です。イエス様は、みなさんを失いたくなかったので、進んで苦しみを受け、死なれたのです。さあ、『キッズフレンズ』48番「どうしてかわかるかな」を歌って、イエス様をたたえましょう。」

質問：

子どもたちが作ったコップをほめてあげましょう。コップを作っているとき、どんな工夫をしたか、それをだれにあげるか、発表したい子どもに話させます。

- ①「ほかの人たちにも、イエス様のことを知ってほしいですか？」
- ②「それはどうしてですか？」
- ③「イエス様のことを何と言ってお話ししますか？」

メッセージをもう一度言いましょう。

「私を救うことを選んでくださったイエス様に感謝します。」

3 おわりに

全員で輪になり、私たちを救う決心をしてくださってありがとうございます、とイエス様に感謝の祈りをささげてください。



私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません。

第10課

イエスさまをさばく

子どもたちに、イエス様は、
ご自分が救いに来たその人たちから
体と心の苦しみを受けられたのだと教えます。
罪のために苦悩されたイエス様を
思つて罪を悲しみ、私たちを救おうと
進んで苦しまれた主を
たたえるように導きます。

マタイ 26 : 57 -
27 : 2, 11 - 14、
マルコ 14 : 53 -
15 : 5、ルカ 22 :
54 - 23 : 12、ヨハ
ネ 18 : 12 - 38、「各
時代の希望」下巻
191 - 214、227
- 241 ページ参照

■メッセージ■

私のために喜んで苦しんでくださるイエス様に感謝しま
す。

◆聖書で学ぶことの要約

ゲッセマネの園で捕らえられたイエス様は、その年の大祭司カイアファの義父アンナスの所へまず連れていかれ、アンナスは、イエス様をカイアファの所へ連行するように命じました。イエス様は最高法院の前で尋問され、侮辱され、嘲笑的にされ、拷問をお受けになります。その間、ペトロは3度もイエス様のことを知らないと言い、イエス様には死刑の判決が下されます。その後、イエス様の死刑を確定し、執行を決定するため、人々はイエス様をローマ人の総督ピラトの所へ連れていきます。しかし、ピラトは死刑を執行する何の理由も見いだせなかったため、イエス様をヘロデの所へやります。しかし、ヘロデもイエス様を侮辱したあげく、再びピラトの元へ帰らせます。こうして、とうとうピラトが死刑の決定を下しました。

◆ここでは、礼拝について学びます。

イエス様が私たちのためにしてくださったことに心から感謝することも、礼拝行為の1つです。

暗唱聖句

「彼が刺し貫かれたのは／わたしたちの背きのためであり……彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。」

(イザヤ 53 : 5)

◆指導される先生の**参考**のために

「サンヒドリンはイエスを死刑に値する者と宣告した。……慈悲と正義はふみつけられた。神のみ子イエスの場合ほど非人間的なやり方で扱われた犯罪人はなかった。……」

裁判官たちがイエスの有罪を宣告すると、人々は悪魔的な狂暴さにとりつかれた。怒号する声は野獣がほえるのに似ていた。群衆は、有罪だ、死刑だと叫びながら、イエスをめがけて突進した。ローマの兵士たちが手を出さなかったら、イエスはカルバリーの十字架に釘づけられるまで生きられなかったであろう。ローマ当局が干渉し、武力によって暴徒の力を押えなかったら、イエスは裁判官たちの目の前で八つ裂きにされたであろう」(『各時代の希望』下巻 205、213 ページ)。

◆教室の**装飾**

第 1 課を参照。

◆今週の**歌**

キッズフレンズ 60
プレイズワールド 13
「両手いっぱいのお愛」



1 バイブル・レッスン

準備する物：紙（6枚）、マーカー

前もって6枚の紙に、イエス様が受けられた6つの裁判に関する聖句の箇所を書きます。この紙を6人の子どもに配り、1番目の紙を持った子どもから順々に、書いてある聖句を聖書から捜して朗読させましょう。

1. アンナスの前での予審 ヨハネ 18：12－14、19－24
2. カイアファの家の前での裁判 ルカ 22：54
3. 最高法院での断罪 ルカ 22：66－71
4. ピラト ルカ 23：1－5
5. ヘロデ ルカ 23：6－10
6. ピラト ルカ 23：13－25

質問：

- ①「イエス様の敵たちが、イエス様を何度も裁判にかけたのはなぜでしょうか？」（だれもイエス様が悪いことをしたという証拠を示せなかったから。死刑にするにはローマ人がそれを認めなければならなかったから。ピラトもヘロデも自分ではイエス様に死刑を言い渡したくなかったから。）
- ②「この6つの裁判は、公平なものでしたか？」（いいえ。）
- ③「イエス様は、みなさんをとても愛しておられたので、苦しみをそのままお受けになりました。このことについて、今までイエス様に感謝していましたか？」
メッセージと一緒に言ってイエス様に感謝しましょう。
「私のために喜んで苦しんでくださるイエス様に感謝します。」

2 A 学ぼう・考えよう

感謝の結び目

準備する物：紙、筆記用具、リボン（いずれも子どもの人数分）、ロープ（1本）

「人々は寄ってたかってイエス様の両手を縛り上げましたが、そのとき使ったのは、固い結び目がたくさんついたロープでした。彼らはイエス様を殺したかったのです。イエス様は、みなさんのために、こんなにつらいことをがまんされたのです。そのことを感謝したいと思いませんか？ さあ、イエス様に感謝のお手紙を書きましょう。」

リボンを適当な長さに切って子どもたちに配り、「お手紙を丸めて、リボンで結んでください。」と言います。

質問：

- ①「その手紙を縛っているリボンの結び目を見ると、何を思い出しますか？」（イエス様が私のために、結び目のあるロープで両手を縛られたこと。）

②「みなさんは、知らない人や、自分のことを何とも思っていない人を救うために、喜んで逮捕されたり、縛られたりしますか？」(いいえ。はい。できるかもしれない。)

「イエス様はそうしてくださったのです。心を込めてみんなでメッセージを言いましょう。」

「私のために喜んで苦しんでくださるイエス様に感謝します。」

B 「イエス様、ありがとう！」

イエス様にならった愛の人の実例を取り上げて、みんなで話し合います。

(例) コルベ神父

戦禍の中で焼け死んだ母親の懷で助かった赤ちゃん
塩狩峠など

3 おわりに

締めくくりとして、『フレンズ』25番「感謝せよ み救い」をみんなで賛美しましょう。





私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません

第 11 課

わたしのために

子どもたちに、イエス様の死は、
私たちに対する神様の大きい
愛の表れだと教えます。
私たちを救える唯一のお方、
イエス様に絶大な感謝を感じさせ、
イエス様を救い主として
受け入れるように導きます。

マタイ 27 : 15 -
66、マルコ 15 : 6
- 47、ルカ 23 : 13
- 56、ヨハネ 18 :
39 - 19 : 42、
『各時代の希望』
下巻 241 - 292
ページ参照

■メッセージ■

私はイエス様に、私の救い主になっていただきたいと思
います。

◆聖書で学ぶことの要約

イエス様がヘロデの元から送り返された後も、ピラトにはイエス様の罪が見
つかりません。そこで彼は群衆に向かって、「イエスを鞭打ちにした後、釈放
する」と宣言します。しかし、群衆はイエス様の死刑とバラバの釈放を望みま
した。結局、ピラトはそれを聞き入れ、イエス様を十字架につけ、代わりにバ
ラバを釈放することにします。イエス様は打たれて、ゴルゴダに連れていかれ
ました。途中、イエス様が十字架を運べなくなったので、キレネのシモンとい
う男が代わりをさせられました。イエス様は十字架に釘づけにされ、2人の犯
罪人の間に吊るされます。そのうちの1人が、「あなたの御国においでになる
ときには、私を思い出してください」と言うと、イエス様はそれをお約束なさ
いました。この世の罪の痛みが原因で心臓が潰れ、イエス様は亡くならまし
た。その亡骸は、安息日が来る前に友人たちによって、ヨセフが作った墓へ埋
葬されました。

◆ここでは、礼拝について学びます。

イエス様が私たちのために、たった1人でお亡くなりになったときの苦悩は、
言葉に表すことができません。自分自身をささげるというイエス様の最高の贈

暗唱聖句

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」
(ヨハネ 3:16)

り物は、何世紀にもわたって信者たちに大きな影響を与えてきました。彼らは、この贈り物のゆえに、主を自分の救い主として受け入れ、礼拝し、言葉や行動で感謝を表してきたのです。

◆指導される先生の参考のために

「ヨセフもニコデモも、最高法院でのイエスの裁判には近づけないようにされた。彼らは以前にイエスの味方をする発言をしていたし、救い主を亡き者にしようという計画を妨害したことがあったからである。……この2人は、イエスのほかの友人たちにはできなかったことを進んで行う。ニコデモは、3年前イエスがおっしゃった『人の子も上げられねばならない』(ヨハネ 3:14、15)という言葉が、イエスの磔(はりつけ)で実現したことを目撃する。そしてこの日の光景は、キリストの神性の確かな証拠としてニコデモの心に焼きついたのである」(『SDA 聖書コメンタリー』第5巻 550、551 ページ)。

◆教室の装飾

第1課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 34 「じゅうじか」

1

バイブル・レッスン

読むのが上手な子どもたちに、ルカ 23:26-49 を交代で朗読させ、その後で次のように言います。「さあ、ゴルゴタへの道を行きましょう。十字架への道です。先生が質問しますから、正解を選んでください。」質問を1つずつ読み上げてください。その都度、聖書の参照箇所をだれかに読んでもらい、その子どもに正解を選ばせます。

- シモンというキレネ人がイエス様の十字架を運ばされた。(26節)
 - 正しい
 - 間違い
- 女の人たちは、イエス様のためにどうしましたか？(27節)
 - イエス様を笑った。
 - イエス様に唾を吐いた。
 - イエス様のために泣いた。
- イエス様と一緒に十字架にかけられた犯罪人は何人でしたか？(32節)
 - 3人
 - 2人
 - 1人

4. イエス様が救うことを約束された最後の人はだれですか？（39－43 節）
 - a. キレネのシモン
 - b. 兵士
 - c. 十字架にかけられた犯罪人
5. イエス様が十字架にかけられてから（マルコ 15：25）3 時間後、全地を何が覆いましたか？（44 節）
 - a. 雨
 - b. 日光
 - c. 暗闇
6. イエス様は死ぬ直前に何とおっしゃいましたか？（46 節）
 - a. 「喉が乾いた。」
 - b. 「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」
 - c. 「父よ、この者たちをおゆるしてください。」

質問：

- ① 「イエス様が十字架にかけられるお話の中で、みなさんにとってどの部分が一番大切ですか？」（子どもたちの答えを聞きます。）
- ② 「イエス様がみなさんのために苦しみをお受けになったことについて、どう思いますか？」（最高に感激。私には、そんなことをしてもらう値打ちがない。イエス様が私にしてくださったことを感謝して受け入れたい。）
メッセージを一緒に言いましょう。
「私はイエス様に、私の救い主になっていただきたいと思います。」

2 A 学ぼう・考えよう

私にはイエス様が必要です！

準備する物：筆記用具、小さな紙（A4 サイズを 8 等分ぐらいに切ったもの）（それぞれ子どもの人数分）、セロハンテープ

前もって、全員が見える所に大きな「愛」という字と十字架をかいておきましょう。そして、次のように質問をします。

- ① 「『愛』という言葉聞いたとき何を思い浮かべますか？」（与える。大事にする。）
次に、先生が暗唱聖句を唱え、次の質問をします。
- ② 「神様の愛が、人間の愛と違って特別なのは、どうしてでしょう？」（神様は、私たちのためにイエス様の命をくださったから。神様は、たとえ神様を愛していない人でも愛してくださっているから。）
- ③ 「みなさんは、イエス様が、自分の一番のお友だちで、自分の救い主になってくださったと思いますか？」

「そう思う」と答えた子どもたちに、紙を配り、自分の名前を書かせ、十字架にセロハンテープで貼りつけさせます。子どもたちが十字架に紙を貼る間、『フレンズ』93 番「やさしい神様」をみんなで歌いましょう。

質問：

「みなさんがイエス様に、自分のお友だちになってください、救い主になってくださいとお願いするとき、みなさんはイエス様を自分の救い主として受け入れているのです。」

- ①「どうしてイエス様に自分の救い主になってほしいのですか？」
- ②「みなさんがイエス様を自分の救い主として受け入れるとき、イエス様はどんな気持ちがするでしょう？」
- ③「そのとき、みなさんはどんな気持ちになりますか？」

B いつもイエス様と一緒に！

準備する物：画用紙、折り紙、筆記用具、のり、はさみ（それぞれ子ども的人数分）

「イエス様を自分の救い主として受け入れた私たちは、感謝を忘れてはいけませんね。それにはイエス様と毎日お話することが大切です。いつもイエス様のそばにいられるようにするにはどうすればいいか、みんなで考えてみましょう（子どもたちの考えを聞きます）。みなさんの言ったことを先生が黒板に書きますから、声を出して読んでください。

- (例) 1. イエス様にお話しします。
 2. イエス様のみ言葉、聖書を読みます。
 3. ほかに人にイエス様のお話をします。

さあ、今からやってみましょう。心の中でお祈りして、イエス様に、『私たちはイエス様をととても愛しています、十字架で死んでくださってありがとうございます』と話しかけてください（祈る時間を与えます）。次は、だれかにプレゼントするための暗唱聖句カードを作りましょう。」

画用紙を配ります。折り紙を十字架の形に切り抜き、2つに折った画用紙に貼ります。内側に「いつもイエスさまといっしょ」という文字と暗唱聖句を書いて、カードを作らせましょう。時間があったら、好きなように飾りつけをさせます。「このカードをだれかにあげるとき、暗唱聖句の意味を教えてあげてくださいね」と言います。

質問：

- ①「イエス様にお話しするのは好きですか？ それはどうしてですか？」
- ②「聖書についてどう思いますか？」（救われるためにどうしなければならないかを教えてくれる。全部は分からない。）

「聖書に書いてあることが全部分からなくても、分かる部分を味わうことはできますし、そこが分かることをイエス様に感謝することもできます。そして、だんだん、もっと分かるようになります。さあ、今日作った『永遠の命』のカードを、だれにあげますか？ その人に何と言いますか？」

メッセージをもう一度言しましょう。

「私はイエス様に、私の救い主になっていただきたいと思います。」

3 おわりに

締めくくりとして、『フレンズ』23番「わたしのところに」をみんなで歌いましょう。



私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません

第12課

イエスさまは よみがえられた

子どもたちに、
イエス様は、
罪と死に打ち勝たれた
勝利者なのだと教えます。
イエス様のおかげで私たちも
勝利者になれるという自信を感じさせ、
イエス様をたたえるように導きます。

マタイ 28 : 1 -
15、マルコ 16 :
1 - 14、ルカ
24 : 1 - 49、ヨ
ハネ 20 : 1 - 31、
『各時代の希望』
下巻 293 - 343
ページ参照

■メッセージ■

イエス様がよみがえられたので、私はイエス様と一緒に
ずっと生きることができます。

◆聖書で学ぶことの要約

安息日の間、イエス様は大きな石で封じられた墓の中で過ごされました。日曜日の早朝、大きな地震が起こり、天使が墓を封じていた石を転がします。イエス様が復活されたのです。番兵たちは天使を見て恐れおののきました。彼らは急いでその場を立ち去ると、目にしたことをみんなに告げました。

婦人たちが墓にやってきたとき、墓はもう空でした！ 天使たちが彼女たちに、イエス様は復活されたのだと告げます。婦人たちは急いでイエス様の弟子たちの所へ行き、そのことを知らせました。しかし弟子たちは信じません。ペトロとヨハネは、自分の目で確かめようと出ていきました。マグダラのマリアも彼らについていったのですが、そのとき復活されたイエス様がマリアに現れます。イエス様は死と罪に勝利されたのです。

◆ここでは、礼拝について学びます。

私たちは、よみがえられた救い主を礼拝します。イエス様が墓からよみがえられたので、私たちには今この世での幸せと、新しいみ国での幸福な未来という希望があるのです。この幸せは、今日からでも始まります。

暗唱聖句

「あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。……」
(ルカ 24:6)

◆指導される先生の参考のために

「祭司たちは、墓場を守るように指示を与えた。入口の前に大きな石がおかれていた。彼らはこの石の上にひもを張り渡して両端を岩に固定し、ローマの印で封印した。封印を破らなければその石を動かすことができなかった。それから墓をこじあけられないように、周囲に百人の番兵が配置された。祭司たちは、キリストのからだを、その置かれたところにおいておくためにあらゆる手を尽くした。キリストは、永遠に墓の中にとどめておかれるかのように、厳重にそこに封印されていた。……

キリストは栄化されて墓から姿を現わされ、ローマ人の番兵たちは彼を見た。彼らはいく先日、自分たちがあざけり、嘲笑したおかたの顔に目をこらした。この栄化されたおかたのうちに、彼らが法廷で見た囚人、いばらの冠を編んでかぶせた人を見た。……

……酒に酔ったもののようによろめきながら、彼らは都へ急ぎ、出会う人たちにふしぎな知らせを告げた。……

キリストは、よみがえられたとき、多くのとりこをよみからおつれになった。キリストがなくなられるときの地震で墓が口を開き、キリストがよみがえられると、彼らはキリストといつしよに出てきた。彼らは神と共に働いた者、生命を犠牲にして真理のためにあかしをたてた者たちであった。いま彼らは、彼らを死人の中からよみがえらせてくださったキリストの証人となるのであった。

……キリストの復活のときによみから出て来た者たちは永遠の生命によみがえったのであった。彼らは、死とよみに対するキリストの勝利を記念する者として、キリストと共に昇天した」(『各時代の希望』下巻 307、308、312、317 ページ)。

◆教室の装飾

第1課参照。

◆今週の歌

プレイズワールド 49
「主は今生きておられる」

1 バイブル・レッスン

「イエス様がよみがえられたとき、驚いた人が大勢いました。イエス様は本当によみがえるのだと、心から信じていなかったからです。」次の質問をし、子どもたちにヒントの聖句を聖書から見つけて、答えさせます。

1. イエス様がよみがえられたことを最初に知った信者はだれでしたか？
(ルカ 24：1-4、マタイ 28：9〈婦人たち〉、ヨハネ 20：1〈マグダラのマリア〉)
2. 婦人たちは、どうしてイエス様のお墓に行ったのですか？ (ルカ 23：56、24：1)
3. 婦人たちは、どうして日曜日まで待ったのですか？ (ルカ 23：56 下句)
4. 婦人たちにイエス様は生きておられると告げたのはだれですか？ (ルカ 24：4-6)
5. この知らせを聞いて、初め弟子たちはどう思いましたか？ (ルカ 24：11)
6. 本当は、弟子たちはどうしなければならなかったのでしょうか？ (ヨハネ 20：29)
7. イエス様を信じる者は、イエス様と一緒にどんな未来を過ごせますか？
(テサロニケ 1・4：16、17)

まとめ

「イエス様がよみがえられたというよい知らせをお祝いする1つの方法は、イエス様を信じ、毎日イエス様を礼拝することです。先週学んだお話は、悲しいお話でした。今週のお話を聞いて、みなさんはどんな気持ちになりますか？(とても幸せ。うれしい。)今週のお話は、うれしいお話ですね。イエス様がよみがえられたので、みなさんが決心すれば、救ってもらえることができます。」

メッセージを一緒に言いましょう。

「イエス様がよみがえられたので、私はイエス様と一緒にずっと生きることができます。」

2 A 学ぼう・考えよう

忘れないで！

準備する物：茶封筒 12 枚、封筒に入れるもの (500 円玉、短いロープ、赤または紫の布切れ、トゲのある枝、小さな十字架、釘、スポンジ、ガーゼ、小石)

これまでの4週間で学んだことを復習します。前もって、茶封筒に番号をつけ、中にもものを入れて封をしておきます。子どもたちに、封筒を配ります。封筒を開け、中に入っているものをみんなに見せてもらいます。そして、中のものが表しているお話をおさらいします。

1. 500 円玉：ユダは、銀貨 30 枚と引き換えにイエス様を裏切った。
2. 短いロープ：兵士たちがイエス様を縛った。
3. 赤または紫の布切れ：兵士たちはイエス様に王の衣装を着せ、イエス様をからかい、唾を吐きかけた。

4. トゲのある枝：兵士たちは茨で作った冠をイエス様にかぶせた。
5. 小さな十字架：イエス様は十字架を負わされた。
6. 釘：兵士たちはイエス様を十字架に釘づけにした。
7. スポンジ：兵士たちはイエス様に酸っぱいぶどう酒を突きつけた。
8. ガーゼ：イエス様の遺体は亜麻布で包まれ、墓に納められた。
9. 小石：墓の口は岩でふさがれた。
10. 中に何も入っていない封筒：墓が空だった！

質問：

「今、たくさんお話を復習しましたが、これは私たちにとって、どんな意味がありますか？」(子どもたちに発表させます。)

B いつもイエス様と一緒に！

イエス様といつも一緒にいられるように励み表を作ってみましょう。(下記の表例)メッセージをもう一度言いましょ。

「イエス様がよみがえられたので、私はイエス様と一緒にずっと生きることができます。」

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	安息日
お祈り							
聖書を読む							
イエス様のことをだれかに話す							

3 おわりに

イエス様が私たちにくださった幸せな未来について、そしてそれが今から始まることに感謝しましょ。





私たちは、イエス様がしてくださったことを忘れません

第13課

そしてふたたび地上へ

子どもたちに、イエス様は、
私たちの場所を準備するために行かれ、
また戻って来られるのだと教えます。
イエス様が私たちと暮らすために
戻られることをうれしいと感じさせ、
祈りつつその日を
待ち望むように導きます。

ルカ
24：50－53、
使徒言行録
1：1－12、
『各時代の希望』
下巻
379－387
ページ参照

■メッセージ■

イエス様が戻って来られるとき、私はイエス様にお会い
したいと思います。

◆聖書で学ぶことの要約

よみがえられたイエス様は、弟子たちと40日間過ごされ、イエス様の証人として、彼らが世界中で行う仕事に備えるように励まされました。オリーブ山に弟子たちと行かれたイエス様は、その場所から天に昇られます。天使が2人現れ、イエス様はあなたたちが天に行かれるのを見たのと同じありさまで戻って来られると、弟子たちに約束します。

◆ここでは、礼拝について学びます。

天国にある家へとイエス様が私たちを迎えに来てくださる日に、イエス様と一緒にいきたいと何よりも強く願うとき、私たちはイエス様を礼拝します。天国の家は、イエス様ご自身が愛を込めて準備してくださった場所です。イエス様が雲の中から現れるその日まで、私たちは毎日、イエス様と一緒に過ごしたいと強く願いながら、み言葉や祈りを通してイエス様を礼拝します。このような礼拝を続けることで、私たちは再臨に備えることができるのです。

暗唱聖句

「……イエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。」

(使徒言行録 1 : 11)

◆指導される先生の参考のために

「イエスは、昇天の場所として、在世中そのご臨在によって幾度もきよいところとされた場所をえられた。このような栄光を受けることになったのは、ダビデの都のあった場所シオンの山でもなければ、神殿のあった場所モリヤの山でもなかった。そこでは、キリストがあざけられ、捨てられたのであった。そこでは、もっと強い愛の潮流となってもどって行くあわれみの波が、岩のようにかたくなな心によって打ち返されたのであった。そこからイエスは、心に重荷を負い、疲れはててオリブ山へ休みに行かれたのだった。聖なるシカイナは、最初の神殿を離れるときに、えられた都を捨てるのをいやがるかのように東の山にとどまった。同じようにキリストは、燃える思いをもってエルサレムを見わたしながらオリブ山に立たれた。山の森や谷はイエスの祈りと涙できよめられたのだった。そのけわしい坂はイエスを王として宣言した群集の勝利の叫びをこだましたのだった。その下り坂にあるベタニヤにはイエスがよく行かれたラザロの家があった。山のふもとのゲッセマネの園で、主はただひとり祈り、苦しまれたのだった。この山から、イエスは天へのぼろうとしておられた。ふたたびイエスがこられるとき、その足はこの山のいただきをふまれるであろう。悲しみの人としてではなく、輝かしい勝利の王として、イエスはオリブ山に立たれるであろう。その時ユダヤ人のハレルヤと異邦人のホサナとが入りまじり、あがなわれた人々の声が、大なる軍勢のように、『すべての者の主なるキリストに王冠を』との歓呼となって高まるであろう」(『各時代の希望』下巻 379、380 ページ)。

◆教室の装飾

第 1 課を参照。

◆今週の歌

キッズフレンズ 57、プレイズワールド 48
「まもなくかなたの」

1 バイブル・レッスン

「イエス様は、イエス様と一緒に天国で暮らしたいという人たちのために、すばらしい計画をお持ちです。聖書の中に、そのことが書かれています。それ以上のことは、本当に行ってみないと分かりませんから、楽しみにしていきましょう。」

子どもたちに、以下の聖句を1節ずつ交代で読ませます。読んだ聖句についてどう思うか、自由に意見を発表させます。

*ヨハネ 14：1-3

*黙示録 21 章、22 章から適宜

質問：

①「私たちがイエス様と一緒に暮らす天国の家はどんな所か考えてみましょう。みなさんは何が一番楽しみですか？」(子どもたちの答えを聞きます。)

②「びっくりするようなことがあると思いますか？」(はい。)

「聖書にもそう書いてありますね(コリント 1・2：9を全員で朗読します)。イエス様が準備してくださった場所で暮らすことを、私たちがどんなに楽しみにしているか、イエス様に教えてあげましょう。心を込めて先生と一緒にメッセージを言ってください。」

「イエス様が戻って来られるとき、私はイエス様にお会いしたいと思います。」

2 A 学ぼう・考えよう

天に昇っていかれた！

準備する物：風船、マーカー（いずれも子どもの人数分）

子どもたちに、風船にイエス様へのメッセージ（例：「イエス様、私たちはイエス様と一緒に天国へ行きたいです。どうぞ、早く戻ってきてください！」）と名前を書かせます。使徒言行録 1：1-11 を朗読します。外に出て、空を見上げながら、イエス様が空に消えていかれた場面について、みんなで想像したことを話し合います。風船を膨らませて飛ばします。

質問：

①「大好きなお友だちや親戚の人が遠くから来るとき、どんな気持ちになりますか？」

②「その人たちが、帰る時間が来たら、どんな気持ちになりますか？」

③「その人たちが、遠くに行ってしまう、もう会えなくなったら、どう思いますか？」

「イエス様も、早くみなさんに会いたいと思っておられますよ。」

メッセージをもう一度言いましょう。」

「イエス様が戻って来られるとき、私はイエス様にお会いしたいと思います。」

B イエス様がおいでになる！

準備する物：A4の白い紙、筆記用具、綿（いずれも子どもの人数分）、のり、はさみ

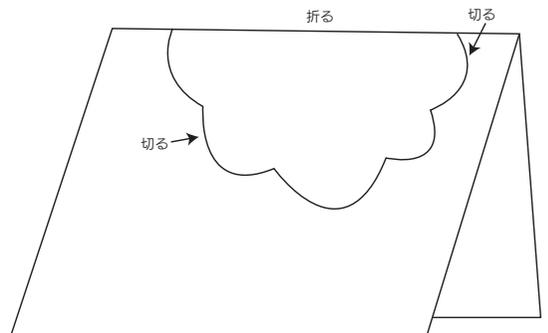
子どもたちにA4の紙を半分に折らせませす。折ってできた線から雲を描かせ、切り抜かせませす（イラスト参照）。そのとき、折り線はそのままにしておきませす。子どもたちに、イエス様がもう一度おいでになることを知らない人や、そのことを忘れてほしくない人を考えさせませす。

雲のカードを開かせ、内側に、「(その人の名前)さん、イエスさまはもう一度おいでになって、あなたをいっしょにつれて帰りたいと思っておられませす。」と書かせませす。

雲のカードの外側に綿を貼らせませす。

質問：

- ①「今カードを作ってあげた相手の人に、イエス様やイエス様の愛について、どんなことを教えてあげられませすか？」（あなたを救うために十字架で亡くなられた。あなたのことをいつでもゆるしてくださる。）
- ②「イエス様がおいでになるとき、その人も準備ができていてほしいと思ひませすか？」（はい。）
- ③「みなさん自身、イエス様と天国に行く準備ができていたと思ひませすか？」
- ④「天国に行くこと以上に望むことがありませすか？」（いいえ。あるように思ひするときもある。）
- ⑤「あるとしたら、それは何ですか？」
メッセージをもう一度言ひませす。
「イエス様が戻って来られるとき、私はイエス様にお会ひしたいと思ひませす。」



3 おわりに

子どもたちが雲のカードをプレゼントする相手の人たちのために、そして子どもたち1人ひとりが再臨の準備をしっかりとできるように、お祈りしませす。



「イエスさまといっしょ 聖書物語 10」 解答・ヒント集

第1課 黄金りつ

1. 強いリーダー、ローマのしはい者、高いぜい金
2. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：自分たちよりもおとつた人々とはいっしょにいたくない、と思つたから。)
3. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：ほかの人が持っている小さな欠点、自分が持っている大きな欠点。最初に、自分の欠点に気づいてそれを直すこと。つまり、けんそんになるということ。)
4. みんなでいっしょに発表し合しましょう。

第2課 先の者が後になる

1. みんなでいっしょに話し合しましょう。
2. ヨハネ——「新しい国で兄さんとぼくは……。」
ヤコブ——「そうだ、お母さんから言ってもうおう！」
ヨハネとヤコブの母親——「あなたさまが王のいすにおすわりになるとき……。」
イエスさま——「神の国でだれがどこにすわるかは……。」
3. 父なる神さま
4. 63 ページに解答があります。
①つかえあう ②しもべ ③いのち

第3課 病人を救った友だち

1. ①つみ深い ②治せる ③4人、ねかせたまま ④屋根 ⑤お喜びに
2. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：神さまでもない人間が、つみをゆるすなどと言つてはならない、と考えたから。)
3. 「こんなことは、今までに見たことがない！」
4. みんなでいっしょに発表し合しましょう。

第4課 見ることは信じること

1. ×、○、○、×、○、○、×
2. 「あのイエスは、安息日をやぶつた。」
「イエスのように悪い人間が、そんなことをできるはずがない。」
(答えの一例：目の見えなかつた男がいやされたなどというのはうそだ、とみんなを信じこませるため。)
3. 見えない者、見えるよう、見えると思つている者、見えていないこと
4. みんなでいっしょに発表し合しましょう。

第5課 まい子の発見

- ① 100 ぴき ② 1 ぴき ③ すぐさがしに行くことにした。 ④ やさしい声をかけてだき上げた。 ⑤ 近所の人をよんで、いっしょに喜んでもらった。
- みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：イエスさまが、ちょうぜい人やつみ人といっしょにいるのを見て、ファリサイ派の人々やりっぼう学者がもんくを言ったから。)
- みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：くい改める 1 人のつみ人)
- 63 ページに解答があります。

第6課 あまりにも大切なもの

- ① ゆいのう金 ② ゆいのう金、結こん式、花むこ、花よめ、プレゼント ③ 花よめ、頭にまくかざり
- みんなでいっしょに話し合しましょう。
- みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：銀貨はいつまでも見つからなかった。ご主人とけんかになったかもしれない。)
- ① 1 人のつみ人が心を改めること。
② 天使たちが天でこのように大喜びすること。

第7課 あらしの中でもだいじょうぶ

- 6、2、7、3、1、5、4
- みんなでいっしょに発表し合しましょう。
- みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：いのりながら、できるかぎりのことをする。)
- しんこう

第8課 神さまにお会いする約束の日

- ① 4 ② いましめ、きそく ③ にんげん
- 病人——手が動かない——治す——はるかに大切
羊——あなに落ちる——引き上げる——大切
弟子——麦のつぶ——食べた——安息日のきそく
ダビデ——神殿のパン——食べた——神殿のきそく
- みんなでいっしょに発表し合しましょう。
- 63 ページに解答があります。 ぜんをおこないこと、いのちをすくうこと。

第9課 つらい選び

- ① オリーブ山 ② ゲッセマネの園 ③ おいのり ④ ペトロ、ヤコブ、ヨハネ ⑤ 天使 ⑥ ユダ ⑦ 見すててにげ出した
- みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：十字かにおかかりになること。)

3. 石で打ち殺されそうになった。
4. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：この世界を救うため。すべての人間を愛しておられたから。)
5. みんなでいっしょに発表し合しましょう。

第10課 イエスさまをさばく

1. ①イエスさまのことを知らないなどと、決して言いません、という約束。
②みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：自分もつかまって、ひどい目にあわされると思ったから。)
2. ①みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：イエスさまが、ご自分のことを「神の子」とおっしゃったから。)
②祭司は死ななければならない。
3. (アンナス)の所→(カイアファ)の屋しき→(ピラト)の官てい→(ヘロデ)の所→(ピラト)の官てい
4. みんなでいっしょに発表し合しましょう。

第11課 わたしのために

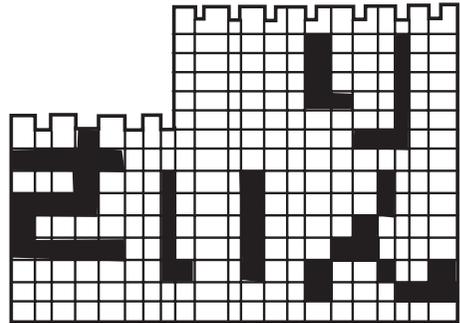
1. バラバ——はんざい者
ピラト——ローマの長官
ヨセフ——キレネから来た旅人
ゴルゴタ——はんざい者を殺す場所
十字か——長い鉄のくぎ
地しん——神殿のたれまく
シモン——新しいはか
2. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：ぐんしゅうをおそれたから。)
3. されこうべ (の場所)
4. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：イエスさまの言葉や行いを見て、メシアだと信じたから。)
5. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：人間のつみの重さ。)

第12課 イエスさまはよみがえられた

1. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：ぐんしゅうが、これを聞いてさわぎだすのをおそれたから。)
2. こう料をイエスさまの死体にぬるため。
3. ガリラヤ
4. マグダラのマリア
5. みんなでいっしょに話し合しましょう。
(答えの一例：ものすごくうれしいと感じた。にげ出したことをくやみ、なさない気持ちでいたと思う。)

第 13 課 そしてふたたび地上へ

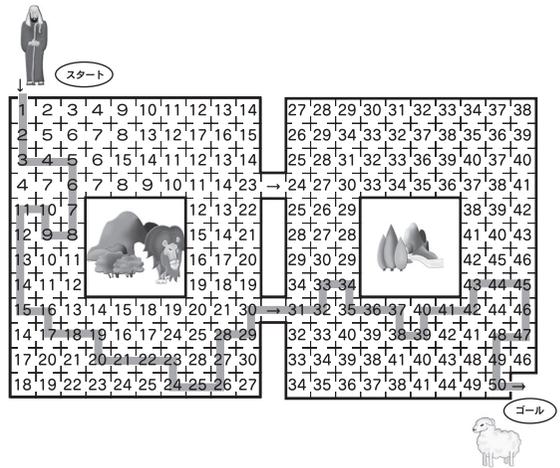
1. ① 40 日間 ② オリーブ山 ③ 人間の心の王
2. 天に行かれる、見た、同じ有様、おいでに
3. ① 神のみ子であるイエスさまは、今も生きておられる。
 ② イエスさまはこの地上に生き、神さまが人間を愛しておられることを教え、この地上でおなくなりになった。
 ③ イエスさまはふたたびこの地上におもどりになり、わたしたちを天国へ連れていってくださる。
4. 63 ページに解答があります。
 さいりん



2 課 4

か	し	も	た	ぬ	つ
つ	ひ	ち	の	い	か
て	か	く	な	べ	え
し	の	え	も	と	い
い	も	し	あ	ね	の
こ	に	き	は	う	け

5 課 4



8 課 4

ぜ	ん	を	お	こ	な
					うこと
い	の	ち	を	す	く
					うこと

●参考資料●

6 課 B

100,000,000 日本 100,000,000

JAPAN

さん

イエスさまはあなたを愛しています。

100,000,000 100,000,000

イエスさまといっしょ 聖書物語 10 教師用

■発行 福音社

〒190-0011 東京都立川市高松町 3-21-8 042-526-7342

■発売 アドベンチスト・ブックセンター

■印刷 株式会社 高陽印刷所

■日本語版発行 教団安息日学校部

2006年7月1日 乱丁本・落丁本はお取り替えいたします。本書の一部あるいは全部に
初版発行 ついて、著作者から文書による承諾を得ずにいかなる方法においても
2015年7月1日 無断で転載・複写・複製することは固く禁じられています。

第2版発行

新共同訳聖書および口語訳聖書からの聖句引用については日本聖書協会の承認を受けています。

うたってみよう 神様をわすれないために

作詞・作曲 栗山智美

A^bM7 Gm7 Fm7 E^b

1. こうまんなこころをかえさせるために
2. ひとのなやみくるしみかんじられるように

A^bM7 Gm7 Fm B^b7 E^b

1.2. かみさまはときどきしれんをあたえられる

A^bM7 Gm7 Fm7 Cm/B^b B^b7

A^bM7 Gm7 Fm7 E^bM7 Fm7 Gm7

どうしてわたしはこんなにもよわいんだろう

A^bM7 Gm7 Fm7 B^b7

それはわたしがかみさまをわすれ

E^bsus4 E^b Fm B^b7 Fm7/E^b E^b

ないためかみさまをわすれないため

キッズフレンズ113番



名前

定価（本体880円+税） 福音社